支那人の見たる

たのであり

たのであります。

全く無準備であるとの事質に直配

支那の排貨運動

は、第一、我園長の多くは外面は、第一、我園長の多くは外面

とがなカイン・の大智子 はは、戦争的であつたのでありま 時は、戦争的であつたのでありま 時には、戦争的であったのでありま 時

私共多数の者は納来日

とがなかつた、たゞポイコットあ はなっとがなかった、たゞポイコットあ はい

(日曜水)

對事使に長っても 天皇陛下より御下賜の見事なる七賢花版 ・の謝事使に復っても 天皇陛下より御下賜の見事なる七賢花版 出事しますかに潜在

「東京二十五日費」滿洲上海南非經論亦符賞は来月早々養表される陸軍艦の上海事監監視者代賞を以上東京二十五日費」滿洲上海南非經論亦符賞は来月早々養表される陸軍艦の上海事監監の大事監である事とて特に行賞の範囲を擴大し膨く一般民際にまでも及ぼそうといふのである、この結集行賞の懸に浴とて特に行賞の範囲を擴大し膨く一般民間地は二十萬人合能三十萬人といふ多數に上るものと舞らるする人々は開席軍人十萬人、一般民間地は二十萬人合能三十萬人といふ多數に上るものと舞らるする人々は開席軍人十萬人、一般民間地は二十萬人合能三十萬人といふ多數に上るものと舞らるする人々は開席軍人十五日費」滿洲上海南非經論亦行賞は来月早々養表される陸軍地の上海事監監視者行賞を以上東京二十五日費」滿洲上海南非經論亦行賞は来月早々養表される陸軍地の上海事監監視者行賞を以上

、肺、卵の三全極に断し左の脈、脈流南泉政府は

トン報告書に関する批評論文を指 の最領要部分たる支那の内政的一日本に對する非職の繰り報告書

滿鐵營業收支豫算

不利な立番とする

覚育総事長は語る

典論の映画

會な問いて健度な決する の技師の人を座談會な聞いたが この感を深くした、いづれ役員 この感を深くした、いづれ役員

部)でやびまり、廿五日社長仏楽部で開 力となり、廿五日社長仏楽部で開 報を打つべきであるとの意見が有とめる一方、在京理事等に起い電

收入一億九千五百萬圓

叉出豫算は大削減

界 未 鈴 人行發 治代事本橋 人輔獨 縣 武 村 本 人馴印 地香一計前顏公東市連大 社報日洲滿 社會式條所行發

日本が満洲に留まる 法條件を考慮せよ 英外事協會でリ卿演說

に十分智慧してゐるものゝ如く、十九日ロンドンのイギリス外突戴門家な機械せる會合の席上、滿洲間壁につき暗論あつた後、洲間壁に禁する凱奈は各方頭から注目されてゐるが、其筋に塗した情報によればリットン期自身も 滿洲 國存在の事と東京二十四日數 滿洲問題討論の來るべき就認理事會遊に總會にリットン願以下の調查委員が搭離される事となつたので、各委員の

しむるかの方法條件を考へるべきだ。
端に對する問題は今や如何にして日本を満洲に留まら

「下事覧と共に、理事會に於ける報告書歌談の歌謡地事會が明迫してゐる指標、二十四日某所看電によれば委員長リットン縣は此程ロンドン「東京二十五日養」リットン報告書歌談の歌謡地事會が明迫してゐる指標、二十四日某所看電によれば委員長リットン縣は出産ロシャンドン「東京二十五日養」リットン報告書歌談の歌謡地事會が明迫してゐる指標、二十四日某所看電によれば委員長リットン縣は此程ロンドン「東京二十五日養」リットン報告書歌談の歌謡地事會が明迫してゐる指標、二十四日某所看電によれば委員長リットン縣は此程ロンドン

報告書の原則は承認 南京政府が全權部に訓令

【ロンドン二十四川黄】陰口英人 滿洲國の行政を 日本に委任せよ 英ポスト紙の社説

報告書批評

事變生存者の行賞

軍人と民間で三十萬人

費す「機器は水認せずご野明を構成特別等は水認せずご野明を

は全力を整して新政府を接げ腫「はオー・エム・グリーン氏のリツ」最能關とされた問題は内地同業のものに他ならず、従つて日本「『ロンドン二十三日後』ポスト紙」に際し今回の内地方面との協定年の無利月別盟の腎ませんとせ

を受け関係を観全部の整理を移へが、対して、関係が変いに対するで、、 うとの電報があつたので、深水電が変があったので、深水電があったので、深水電があったので、深水電があった。 の見込が立つたもの

興論を喚起 更に在京理事等に激励電報

滿鐵社員會 15十河、保室開連事、新波雅田等 も内地同業者の膨近は相談に根違り が新とは思されず、確安工場にしてが 新り、これ等の膨延は相談に根違り が新り、一般ではあった。 にあり、かくては内地 情緒における興論が場 が、消緩社就會とし であり、かくては内地

て、高も突音楽性に際し、所る緩ってあらうことなぶれるのであります。 配動 大きない かんども 根地で、 胚細 營業豫算

と無よりがかった監等によって根準を開きりがかった監等によって根準を開発した。これによると、大きのと、一般を表示に対して、一般を表示に対して、一般を表示に対して、一般を表示という。

なれる

お頼の祭信ち極東の野

0

た見るのであります。 を見るのであります。 日本の野外観定は連載的であるとの報 正置保存高の大部分を失ふて居る 正置保存高の大部分を失ふて居る でもます、又犯共は日本

な成形である 、東され である 、映画にあ

これを支持しなければならない 年の機株約四百八十萬国を控除するに、計画を が不服ありともなは 蝦道都崎和七年度更正建築 あれ、青々をして書館の治場 既に完成を見たが喉砕泉人更正建 が しゅく、 前ち水 部による でこには指駆者が一人居られ 減敗速振が比較的域くこれことが では、 できない、 ごうし ないものと いく、 前ち水害による てこには指駆者が一人居られ 減敗速振が比較的域くこれことが おりかっている。 神殿駅の一味がハイア屋に化けて居た、抜け目がないやうで抜け

上一京 を促したことはこれ 等の政治的問題が解決な告げ既に 等の政治的問題が解決な告げ既に 統制經濟問題

の活動 る。一方支那側のの勢力な要するものと吹されてる 田見、松澤、林田の谷族情が必死と終補では栗崎、田中(止)、基館、

滿鐵々道部 5日本を追出するとは駄目だし 命用

たい」とい 悪には「追び出せるなり追び出し間ふに落す、階あに落る、その ふ別が見える。

.

その清州属中立院、死の清州國・影で 職から英國を追び出すことは駄目立場を變へて「今日印度及び西 だ」を聞いて聞く。

階

F

階 Ŀ

| 八田浦銀副銀歌、村上海事、標備| 八田浦銀副銀歌、村上海事、標備| 八田浦銀副銀歌、村上海事、標備| 1 十六日報八時降連の冒清鏡に入電 | 1 十六日報八時降連の冒清鏡に入電 | 1 十六日報八時降連の冒清鏡に入電 | 1 十六日報八時降連の冒清鏡に入電 | 1 十六日報八時降連の冒清鏡に入電 八田副總裁 廿六日朝歸速

アンリー・ドコアン氏原作

佛オツソオ社超特作品

カルミネ・ガローネ氏監督

(本) 大田 (本) を関すては (本) を関すては (本) を関すては (本) を関すては (本) を関すている。 (本) を関すている。 (本) を関する。 (本) を対づる。 (本) を対して (本 あと 市議逐鹿戰 一週間の

も盛秋な歴史を示して しから經過火業につい を受けたの大能を揮ぶが の大能を揮ぶが の大能を揮ぶが の大能を揮ぶが の大能を揮ぶが の大能を揮ぶが の大能を揮ぶが の大能を揮ぶが の大能を揮ぶが の大能を揮ぶが の大能を変した。

又銀道修繕のごときも六、七剛年 わよび勝戦高による自然権あり、

は七年度同様一千五、決定に使つこととなら

延は容易でなる結局

に切詰められるであ

相當多額によるべく、健康に縁延べてゐたので明年度は

ではくく一選目に迫った、立候補いよくく一選目に迫った、立候補いよく、一選目に迫った、立候補いる事にな 官選議員は詮衡中

石井參與官

けさ急行で赴奉

を七年度收入鎌倉の五分増とすれ かに超えるも分増を常としてゐたから、八年度 つてその増加の收入ば解和四年度までは年々五 相當多

滿鐵硫安工場設置

各方面との諒解成

深水技術局審查役廿六

融質、野島砂香等を際同家天へ商 三郎氏は既に用粉な了へ二十五日 三郎氏は既に用粉な了へ二十五日 流線を初め在版大谷が配の関係者

か計さず、有馬候補は森川候補の 面が立運れの氣味あつて戦況樂製 ぎ重はれこれまた苦味に陥ったしため一樹會(諸田関係)を根こそ

和 一郎氏(政友會代職士) 南上 南上 二十五日午前九時大連鄰發三耶氏(陸軍参與官)一行縣會讓虽觀察團一行 岡上

前七時三十分大連海外養學定

はるびん丸二十六日午

▲田湊敏行氏(元滿鐵環事)二十 五日午前八時大速驟着 ▲濱田有一氏(吉林滿鯾公所長) 同上

年後七時五十分野場にて水連の苦地で大樓長繁原坦氏は二十五日

得の味です。
お歸港の日が一日喰ひ違つた。

今夜來連 幣原兩氏

も五ヶ月も留守にして、それ青い水平線の放方ですもの、姿達のこと分りつこな

くら可愛い女房だつて、俺達の港々の生と青い水、ケジメのない境目だもの、い男が女を――それあ、當り前さ、青い空

秋颯爽のフランス映畵

快漢プレジヤン第三回の訪れ キヤスタネットがおくる紫の情熱 青き地中海をわたるマドロスの唄

ロリタ・ベナベンテ嬢助演

ジム・ジェラール氏

フレジャン主演

活が覗けるもんか!

生野源太郎氏(最強者列車で來表顧問)二十五日朝者列車で來表記(長野線路濟線代本語用と一行十三名同上

さらば 黑木しのぶ入社第一回作品 島津 元、山本 嘉一 共演

來を囑望さる、逸品! 禁屋の如く現れたインテリ女優黒木しの

悲戀

-識者の期待して待つ一篇!!

憂華」で九條武子夫人に扮した明眸鈴村 快漢海江田譲二に配するに―かつて「無

盗せたのは誰だ

・ 一子に難し「お前の性残に根機削か

被領大連の野家に織された

不幸な女の犯罪哀話

を以つて御靜養遊ばされましたが最近御平靜に復せられ御機體御様子に御異狀を拜せられましたので萬事に細心の御注意

五日観小徳子支那窟に微伏中を大 版の一味高化南(*)」は谷地駅線製 で駆起の接着を載けてるたが二十

海賊一味逮捕

署吉岡和事の一階が逮捕した

《東京二十五日發》 宮內省發表

皇后陛下には一兩日前御身

皇后宮御近狀

嫌よぐあらせられます

は ・ 満男子及び女子の記述選手権大會 ・ 満洲情育協會では來る十一月六日 ・ 満洲情育協會では來る十一月六日

小平島强盗も

八組逮捕

ついてはその後沙神口歌に際て殿のいてはその後沙神口歌になる三人組織姿態に一般でなる三人組織姿態に

制高金品の多数あることを知つた り鈴紋の勢を憶まれが針である 動職べの結果一味は被害者が方に する標準洲政府に動し出来語る を詳し立派に一方の称として登用 1、場所 大連 ・ 参加資格 人を主さして ・ 大連 ・ 大連 ・ 大き ・ 大き ・ 大連 ・ 大き ・ 大連 ・ 大き ・

脅迫 小街三百五十餘回を

石山溝の强盗

かくて対応丸の光変は確認さるゝと同時に飛根吸二十餘名の柱部も膨慢と地に鬱鬱の趣に呑まれた事がくて対応者に必要な簡略な死棺用箱材、大工、防腐劑、白布若干等も準備されたしさ入報わつた、静機は深さ六氢で十六原半の海底に償倒しに悲惨なむくろを横たへてゐるが、直ちに前電で要求し般維基丸より指本共同漁業重後からの無電によると

【東京廿五日費】呼倫員書方面事 信総してみないが各方面から陸軍 信終してみないが各方面から陸軍 信終してみないが各方面から陸軍

新匪**逆襲**

戸部隊に顕戦を以て頭域に我が実は上所軍に領撃を以て頭域に大変域して戦速した又称安徽 は上所軍に領撃を以て頭域に我が実

以感を味

ふため

小學生が萬引團

學校ご連絡し善導

四日午後當拉爾基西北方浅龍虎拉・爆弾を挟下し多大の損害を興へた「子テハル特體二十四日整】二十一日午前八時我が飢死機は土無軍に

籠球選手權大會

滿洲體育協會が主催

同人が曖昧となり

年前七時衞地代郷広楼丸勢三郎がより演務局に通報あつた、つゞいて廿五日午前十時頃現場にある飲度三五分、東徑百十九段四〇の地點の濛中灘く懺はつてゐる無難な辨義丸の機麼を愛見した旨廿五日五順)についてその後僚脱六獎をもつて徹底能に附近を捜査中であるが廿四日午後六時頃北禅三十八瀬潔庵にて滅撈甲行方不明になつた総長田中光一郎以下二十餘名を乘せたトロール源牒が表現(三二瀬潔庵

沈没愈よ確認

邦人全部を釋放

改悛せば罪を許す

蘇に對するわが方針

虎爾虎拉に

船炒義丸の

化

狂喜した殘留邦人

皇軍

は、 ・後一時代目患す適化へ配ったこの日夜来の をと山野を埋めた、泥濘監路雪中 をと山野を埋めた、泥濘監路雪中 をと山野を埋めた、泥濘監路雪中 が滞って騒じた である、足が滞って騒じが に 3 である、足が滞って に 3 である、足が滞って に 4 である、足が滞って に 5 である、足が滞って に 5 である、足が滞って に 5 である、足が滞って に 5 である、とが滞って に 5 である、とができる。 井特派員強

井特派員強

十七日午前六時出費

十七日午前六時出費

一七日午前六時出費

一七日午前六時出費

一七日午前六時出費

一七日午前六時出費

一七日午前六時出費

一十七日午前六時出費

一一次のつだこの日食來の

本化(「戦となって観片級)

本理のた、泥濘窓路雲中

本には戦となって観片級

著しなく演練を追ふて観て兼江

本理のた、泥濘窓路雲中

歌は直に入城、唐の冊政の本様で
中本理のた、泥濘窓路雲中

歌は直に入城、唐の冊政の本様で
中本理のた、泥濘窓路雲中

歌は直に入城、唐の冊政の本様で
中本理のた、泥濘窓路雲中

歌は直に入城、唐の冊政の本様で
中本理のた、泥濘窓路雲中

本理のた、泥濘窓路雲中

本で大総行を織げて続く午

位いた、肥齢〇〇長は宏養の高波

入

は全國外務省の命を受け高級部隊 | 服箭部隊に従軍して十七日午後一死に一些を得て引掛げた樊津領事 | 一般を得て引掛げた樊津領事 | 一般を得て引掛けた樊津領事 | 一般的光景であった

土工用具掠奪

羽海灣

一十餘名が

概念を本が住以下と関らひ手引して 概念をが住以下と関らひ手引して

顔見 かりのため屋内には

邦人拉去

北井子で

興津領事と涙の再會

上門を開けて最軍の入城を戦 で出述へてゐる、微然城代教 このが市中職る動わなぐらを持つこのが市中職る動わなぐらを持り対大で観式に

変り角夫は一選 がないので飛ば袋 である、川路

おしていたときまった。 一部がはこれにといまらかが手、敬入 ではこれにといまらかが手、敬入 ではこれにといまらかが手、敬入 ではこれにといまらかが手、敬入 ではこれにといまらかが手、敬入 ではこれにといまらかが手、敬入 明細まで量行して勝政を行って 政はこれにといまらず順手、前

失英大となりさなきだに労働機 あるが、とにかく

蘇民の間に現 のるが、とにかく

蘇民の間に現 (全通化、新選を始め東 協會設立認可滿洲舞踏教師

T八名▲老虎艇管内百二十七 《石道衡管内百二十七 日六十名▲岢 日六十名▲岢

根大連製保安保では二十四日順出ある。 で 減一般の非融を買ってるを際とて を 減一般の非融を買ってるを際とて ・ 戦性力をもつて記憶向上に発むる ・ で が、上に発むる ・ で が、上に発むる ・ で が、上に発むる ・ で あるとの見

た一味を逮捕 七千圓を騙つ

摑まされぬ用心

毎日多數發見され

尚造貨幣を

3

・ 順東職等が がは、の如く

月十六日から十月

かす獨逸映書

日公開

一十六日よ

り三十日まで

るが、生徒らは係 像職人あり最近に珍しい緊張ぶり、光分監督するやう 大汽をはじめ谷津事關係者多數の深を成め同時に保 に際延されたが事他が事件だけに されてカキ、昆布な

思 W ダンサー告訴

珍らしく緊張 東に自力をもつて様

回施寮の成績

けふの

南西の風睛一時

00000時

为

五 錢均一 にて新種類多數取揃へました御利用御願申上ます品、文房具類、瀬戸物類、金具―金物類―等何れも

用方法を御考へ下さい何れも問屋の見本切を捨値にて買入て丹前に、蒲園の鏡用に、樋工物に、それかへ面白い御利生地、富士絹、毛斯等四枚合せて座布園を、小切を縫合せ人寸より二尺位迄の小切、生地は極上等の美裏織、パレス

見切品を豐富に取揃柄!! 生地!! 値段 メンス小美 裳 共 二個八十億より へました御用命御願申上ます!!! 何れも絶對に自信ある優秀破格品 羽紅白銘丹 二 絹絹 前 重二二 用 形 丈 女 八 機 物 物 編 二是 十 錢より

同時封切●前代未開の戦線膝栗毛●階下五十銭● 歌呼の中を往く歴倒的名篇●●●●● 0

十月 生産者。消費者へ 工場より御家庭へ 修新製品特價大賣出 廿五日より 廿九日迄 五日間

(浪速信

に御願ひ申上ます しました何卒倍舊の しました何卒倍舊の (御買上五圓毎に騙引券 音の御引立の程偏へ 神譯が御座いませ 中譯が御座いませ

「可認物優郵程三第」





(日曜水)

YEX

眠ts人過勞の人 腦病と神經衰弱

通信販賣の秘訣引(ハかきで申込め金頭けの出來る金頭けの出來る金頭けの出來る)(ハかきで申込め、新聞雑誌の廣告を利用して年中不景東ガス間))

それ以上の消費は監費です! 人一罐の使用量は約一ヶ月强

なき方

スモカは主として喫煙家の歯

!今らなふ買を袋足

福運の難入

フ歯磨進早

本新聞紙上 來る十一月



三等 絹座蒲團 七等石輪二個人 伊高玉焼香菜 美術體時計 ベリーセット 五帖 一台

もれなく強 三一四〇本 二00本 100本 10本 三〇本 一五本



評判のよい お買求めは



2 各小賣店

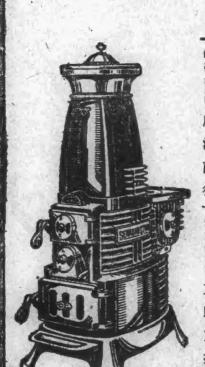
専門今井醫院

らなむの草煙

製圖

磨です 口中の荒れ! 臭ひ! スモカは過度の喫煙から來る の歯を純な白さに輝かします そして喫煙家ならずども誰も 蘭の黒いヤニがちき取れます 駄な散乱を防ぐためです を常に正しい狀態に置きます モカの粉末には適度の潤ひ それを防いで口腔

池田小兒科門醫院



關東

滿洲代理店

藤川

I

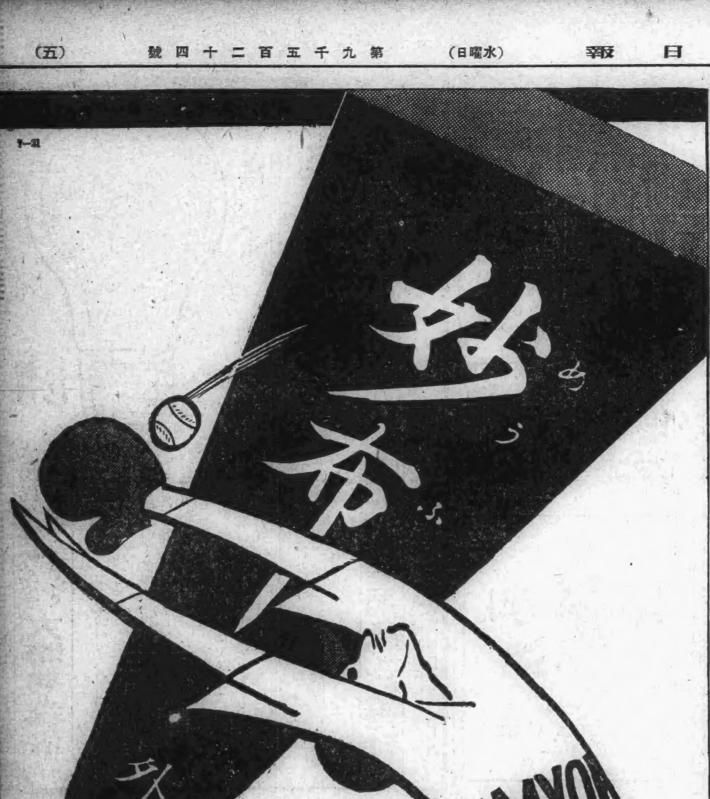
FLUSH VALVES

200 VF 15 ショフン・アントでは、連絡街心資格運 連絡街心資格運

車者、帶國大學領

指 定

新案特許 セ・フ



速かに排泄して コリを和げ痛みを消し 疲れを除 スポーツマンの必携薬「妙布」は血液の循環を促進 して新陳代謝を良くし 運動疲れに備つよ「妙布」! 疲勞に依つて生ずる毒素を

金五十錢 金壹十级 発展説を所の

きます

常に缺かされぬ「妙布」の此偉効

今日の疲弊を癒して 明日の精力を涵養の

節肉の症みの症み 主治劝能

輝邊

高級埃及巻煙草

滴足を確信致します の薫はキット愛煙家の御 オリエンタル貿易商會

が、 神経の業信見 計統 報日 登調 番六六七四軍・町河駿市連大



授歌大響 土博撒片 獎 推

何上り

東京

筒

屋

油

店

到殊備他底に備へのの時に禁 を製み源泉である を製快にし明るく期かな氣分 を製みである。 を製みである。 を製みである。 を製みである。 を製みである。 を製みである。 を製みである。



人見牙口口目間ペン習字幹典 任意)振く東京市銀帯西 日常便利辞典

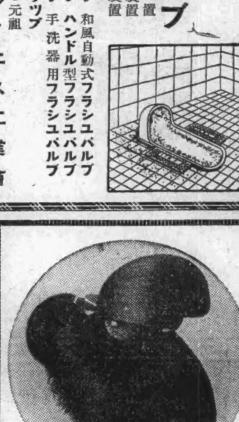
最新手紙辞典

業業 株式大・十 証 値 (c−1)

文者に限り只の全一面に大投資す(外に資料十五種)左の大群書五册定價七面の處今回五册同時註 別のろは引辞典 現代新語辞典

一、防害物阻 止 裝置一、完全自動閉止裝置

一、宋學防止裝置一、宋學防止裝置



は……先づ……髪姿から……

五册源只 模範辭典が

空前の大特賣!! 大好評の (總紙數一千五百頁)



讀者優待割引券

ジャンの船唄し

「プレジャンの船唄」

讀者優待割引券

浪華洋行の

大

滅ザラ

は愈

十五日から晝夜二回

職吉は慰めなかで味いた。そしっない)

ってアレジャンとジエラルの変技

そしてこの結末のヤマ場に

平紙讀者優待映畵會

帝國館上映「プレジヤンの船唄」

日

間日延絶對なし

日

日

締十五銭

より

有り

品速町 とい

洋

行

『紙

九店

0 な

V.

様に

後援

洲

社

一個人間でえものが、おれことり、

を はい世界が展開して全権の歴 を なない世界が展開して全権の歴 もをなして、 飲みフランス映画 6

を発立さになってやる位だ」

すごくくと、わびしさうに除って 老人は腰に手をまはしたまと、

仕だがない。

層御引立下さる樣御禮旁御願申上げます

一周年を迎へ

各位益々御清榮に亘らせられ慶賀に存じます、

一方ならぬ皆樣の御援助を賜り御蔭樣にて繁榮を極めて居ります、倘今後共に一榮に亘らせられ慶賀に存じます、偖而弊店伊勢町(浪速町角)に移轉しまして早や

八は帰然として職害の顔を見

(苦しめるのぢやなかつたないあ

し何でもない、大者から

「おういふ人が後級してもうう。

場の場面はなかく、味な変出を見かに描き出してゐる。またこの酒かに描き出してゐる。またこの酒

メントといふ獅子に扮するロリタードは第一の許潔地で現れるカルー

報

日

を聴言は客へこんで、

他の中のものはみんな、ぶち要したしばれ、この世の中が愉いのだ

生きてゐたる

はなくて住居のがへした。

たっとい人吟は、す

郎へ

職吉はパネ仕郷の足を飛ばした

限士團と彼(五)

(可認物便數理三第)

CURIOUS

或

雅粹

何もないわたしだ ツこはない。例が

吐き出すやうに老し たら、この胸が癒えるだ 人ばいつた。 か知らやざつち

ら新聞館で無様

食味

は

マサ

洒脱な藝と咸觸 『ブレジャンの船唄』試寫評

とは、けつして御目のためぢや

あらう結ましい微技を消して酸々 生観がスクリーンに描き出されて で、変験を以て数突ましい航空リの人 ア プランネルの美しいカメラもこの トはブレジャン】

りは既報の知くで港々に 時から協和會館で第二回試演會を 時から協和會館で第二回試演會を 試演會 廿六日夜開催

言ったものであるが、

である、ガルロオネ監督の手法は一変者ジエラルの適役による好演技 たその結束の良きである、その良の一篇の優れたところは氣のきい

ホルモン り一家の幸福と圓滿と を計られよ 水ルモン學會大連支部大連市但馬町一六 毎日午前八時より午後四時までれたこ

お布璽用

西川かとん店

スタートしたが、事務量が宮岡君 で 「難け日本の安怪」で調子よく のい、眼を開かて「ブレジャンののい、眼を開かて「ブレジャンの は「三文オペラ」でこれまた風の は「三文オペラ」でこれまた風の は「三文オペラ」でこれまた風の 別の都合がうま? だなんて駆い洒落であるスタートしたが、事務員

生

最 新 をの治療として をの治療として







作(ロ)サンタルチア (二) 品質 日本一

日本自動車學校

着狭町空番牌 たば

記

五周年の記念品を差上ます

念大安賣 中 串

金州旅順無賃配達 速 町 94

大品庫在的底 處

賣廉大の 慢自店

明サ六日。限りです。

思切つた特價

一後五時半まで

a

廿五日は準備の爲乍勝手休業仕候

る二十日解で陳徳書を際して致 大阪工業會理事長の名を以で生 力大阪工業會理事長の名を以で生 石炭問題に関する製念

滿鐵貨物運賃

断じて高くないで

高率運賃の結果

各國鐵道運賃の比較

高粱採算難で

十二年 (本学業でであった) 「大塚橋等を 地に出張中であった。 「新来の女」を東、本窓新、鐵蛇、大塚橋等を 地に出張中であった。 「新来の女」を表した氏は語る 主さして事務の打合せであった。 「別の貿易組合に就てもいろく 別の貿易組合に就てもいろく 見間して来たが各地さもやはり 内地の輸出組合に対であった。 「別の貿易組合に就でも思いないが、将来の最 でうにも思へないが、将来の最 できたとできなに其替化する。 「前に設立しやうことは明かに看取 される、勿論今急に其替化する。 「前に設立しやうさしてある。 「前にも思へないが、将来の最 できまで苦難に耐へて来たものは何れ

輸送閑散

のでありとし、これが地球を阻止で野野戦の登達に震災艦を及ぼする野野の登達に震災艦を及ぼする

撫順炭移出減は

内地產業二惡影響

大阪工業會各要路に陳情

具體問題なので解決は容易で 一般都を置くなり、正確性の形であると、なりこの方は多年の難実であり、正常の形であると、なりこの方は多年の概念がであると、なりこの方は多年の概念であり、正常であり、正とくである、從つて同理事では、まて在院総が、不成統律の形であると、なりこの方は多年の概念であり、正常では、一般を表してのでは、一般であると、正常では、一般であると、一般などのでは、一般であると、一般では、一般であると、一般であると、一般であると、一般であると、一般であると、一般であると、一般であると、一般であると、一般であると、一般であると、一般であると、一般であると、一般であると、一般では、一般であると、一般である。

本年の甲谷陀市場は多分に浮動性 た響がてぬる、町ちパギー航なる た響がてぬる、町ちパギー航なる た響がてぬる、「町ちパギー航なる た響がてぬる、「町ちパギー航なる た響がてぬる、「町ちパギー航なる た響がてぬる、「町ちパギー航なる た響がでぬる、「町ちパギー航なる た響がでぬる、「町ちパギー航なる た響がでぬる、「町ちパギー航なる た響がでぬる、「町ちパギー航なる た響がであるは軽電な要しない歳であ たっシアンやパッグの器輪とは全然

神戸期米 神戸期米 神戸期米

からなるのである。

111110

豆 油 一三三〇 田本高 荣 二一九〇 出來高 六百箱 出來高 六百箱 出來不申 包 米 出來不申

五〇百箱 五〇百箱

上海版替情 春板ヤーヤ

炭統制會社

の傾向を記してゐる 大阪商船

さにならう

九月建築狀況

| 「 | 大五萬二千六百八十圓にして、線 | 「 | 江において百五棟、二千三百九十 ◇ | 江において百五棟、二千三百九十 ◇ | 本五萬二千六百八十圓にして、線 | 下の工事四

部長とい 州

りの監索者は探算困難となって養送。これか實施すべく、一帳の實施、大正、大正、一年の主義となって養送。これが實施である。医し現在の地域との間に風滅なる協定を得ざるも、は、一年の主義となって、一般の意味をに関して滿環地頭側、一般に、一年の主義となって養送。これが實施すべく、一帳の類倫を表し、一般の意味をは、こと、なった。 小口扱延期 大月中における大連市内**建築版**別

急騰の鈔票

具體化は猶ほ遼遠

ー河理事歸連協議の上か

ける前場大崩れ

目先尚は下値案じ

貿易組合設立案

着々と進捗

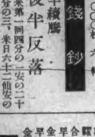
沿線視察の中村理事談

本入れ、一方米自六十二世号の二 高、紅育八分の一高と林粋編つた そこで近期八千銭高の百圓六十五 段、遠州八十五銭高の百圓六十五 人、今日までに申込んだまなる は、遠州八十五銭高の百圓六十五 人、十二十五十世、海外銀塊と輸設は では近く運用委員會を開き設金僧 本では近く運用委員會を開き設金僧 を記して記述って記述する響で本 るが、今日までに申込んだまなる のは(單位千圓) 、海州石僧邦人商工資金 一二五、〇〇〇 一二五、〇〇〇

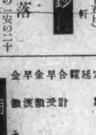
粱軟調

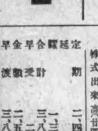
利鮮不動産融資 1000 種次各種組合資金 10000 種次各種組合資金 10000 種次各種組合資金 10000 全種比外熱適用込み確定されて居るでは、例は、一般のに北海道及び产級の災害後種が

中間、戦出来で戦調問題である
中間、戦出来で戦調問題である 爲替市場閑散









借力の五三話電

地番二一町狭若市連大 (前院医男岩) **院醫科密森藤**

各地特產發送高

マラ 金属者 草砂 数型 | 1三番目 | 8

株(保合)

未着

況

唄の當本でログでロエ

地

等形交換高(廿五日) 金 「天林」等間に完全 金 「天林」等間に完全 替

渝

五日

當市も保合 地数らず

昭書が

すき焼 物一式と倉席 よせ鍋 b

品作回一社入ぶのし木黒

京東ばら

种各太八杉 聖養品式 31218B

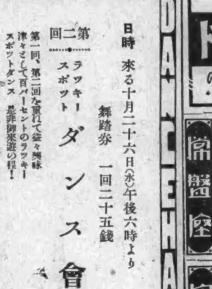
日

公開

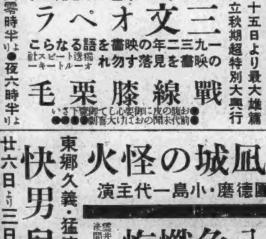
廿五

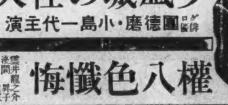
此段御通知に代へ謹告仕候 一時山縣通海員集會所に於て基督教儀式に依 病氣療養中二十二日午後九時永眠せられ候就 失村演米吉 野养。村高 幣大 暴金





廿六日寺三日間

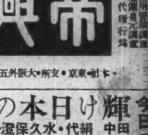


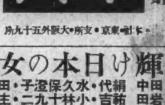


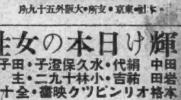


演主大子駒原美妖

ヤジレ







所版製田保

沿線初巡視を終

社員は皆元氣で安心した・・・

閉に語る旅の感想

機数と同行した三理事のうち河本 であつたが山崎、大淵麻理事は交

ちしばらく会議や何かで忙といが二十七日に來るし實際これがには頃復会議をやるが出潮大使

感激の旅

兩理事交々語る

- 二月中東京にて開催か

国内十五日開會に決定したが、 関で、日下蔣介福派と脱東派は医院で、日下蔣介福派と脱東派と脱東派は医療しているり、農東派委員の出路を関連してるかまに歴史が存委員の出路を関連するかまに受ける。 を関連するか或は書派委員が決定を関連が決定を関連するか或は書派委員の出路を関連が決定に続り、農東派を関の出路を関連しているが、果

神 より北支動館の危機は大第に切迫がれたと報じて居る。 かれたと報じて居る。 かれたと報じて居る。 かれたと報じて居る。

のだから出来るだけ早く普及さ のだから出来るだけ早く普及さ 日本ればならい、今これな線道に 日本のにから出来るだけ早く普及さ 日本のだから出来るだけ早く普及さ 日本のだから出来るだけ早く普及さ

のたが、北命 目に値するものがある 東支の暗和七年度散入機算は三千度も静能はと 馬面は擴大すべく山東の局景には 決定を見至らの短くである。然と我事に對して 都系軍隊が戦の背後を覗へは更に おり上 したものゝ如くおだ我事に對して 都系軍隊が戦の背後を覗へば更に おり上 したものゝ如くおだ我事に對して 都系軍隊が戦の背後を覗へば更に おり上 したものゝ如くおだ我事に對して山 称二千二百萬金曾を主張する者と 短いを かったが、北命 目に値するものがある

全權部司令部

商法總則概論

三十日全部移轉

◇面目一新せる博士の西法總則……<

※本書は博士の著書、全社法施論及手形法機論」の姉妹線として高法の基本機会の四部を開いて

一大増工の方法。

一大増工の姉妹線として高法の基本機会の四部では、

を開いて

一大増工の姉妹線として高法の基本機会の四部では、

では、

を開いる場合では、

く者はされたものである。本書の前身だる「商法の基本機会を開いる」

一大増工の姉妹線として高法の基本機会を開いる。

本書の前身だる「商法の基本機会を関いる。

本書の前身だる「商法の基本機会を関いる」

「大増工」の姉妹線として高法の基本機会を関いてある。

本書の前身だる「商法の基本機会を関いる」

「本書の前身だる」

「本書の前りたる」

「本書の前の前りたる」

「本書の前りたる」

「本書の前りたる」

「本書の前りたる」

「本書の

等多数の出逃へがあつた 他大連暫線で来速したが 他大連暫線で来速したが で大連暫線で来速したが

を主命大橋長幣原地氏夫妻(十五 京城帝大の開校式に参列したの 京城帝大の開校式に参列したの 京城帝大の開校式に参列した。 幣原博士來連

指導良書 ・ 本書は高橋博士が十巻年来の研護福書を ・ ない、 大人士の領ちくの様々では、 大人士の領ちくのは明書を開せばれている。 ・ 本書は高橋博士が十巻年来の研護福書を ・ 本書は高橋博士が十巻年来の研護福書を ・ 本書は高橋博士が十巻年来の研護福書を ・ 本書は高橋博士が十巻年来の研護福書を ・ 本書は高橋博士が十巻年来の研護福書を ・ 本書は高橋博士が十巻年来の研護福書を ・ 本書は高橋博士が十巻年来の研護福書を

東京帝大教授法學博士

菊判上製 二圖八

+

歐州新憲法論

李一册 ◆選科 第二十段 カリン内 一郎先生語 コロエナ

高橋清吾先生著

至一册 ◆ 蓋料

美濃部博士著

下 粉發賣

・軍政部分を解説したにて各論の増訂版し完結をかが要責す下巻各論のの部は改訂上野の中間を開行では政・財政下巻の部は改訂上野の中間を開行では政・財政下巻のの部は改訂上野の中間を開行しての一回その積編にる下巻のではないの本番には第二章保育第八節法政・財政を対して、一回をの積になるのとを総論の部は全部を改植して、通り

金四圖六十錢

不可侵條約豫備會議

「東京二十五日教」置資新賦所報」極東平和に一種の活力を奥ふる心 修約締結に関するほかには、 ・ 他の概れある一頭の影性にして完一勝の整備を事務管局に命ずると ロヤノフスキー氏は能で助吸跡観 他の概れある一頭の影性にして完一勝ときに窮田大使かして転目勢設大 要談中とて多分象備會議には出席 他の概れある一頭の影性にして完一勝を進めついあり、かくて瞬間政 セナ、外変大長カラペン氏の楽棚 をなる線定が成立するにおいては一所の郵備を事務管局に命すると ロヤノフスキー氏は能で助吸跡観 他の概れある一頭の影性にして完一勝の郵倫を事務管局に命すると ロヤノフスキー氏は能で助吸跡観 で、外で大長カラペン氏の楽棚 をなる線定が成立するにおいては一所の郵倫完了次第東京にて不可徒 ・ ともに窮日大使かして転目勢設大 要談中とて多分象備會議に出席 をなる線定が成立するにおいては一所の郵倫完了次第東京にて不可徒

三全會議

満洲開發には

に就ては武職長官さも、死に角浦級の案自憶にも急いでゐるが主務

まづ鐵道を

大村監督部長來連談

不國内にも意見生す

英政府態度聲明

サイモン外相下院で

空隙を見録して午後四時四十八分、吹流眺眺其他内外重整眺壁につきてに起き我家軍の襟般を觸越に続いて行政委員長後低観歌、周氏政府召氏一行は勝軍省の探徐で二十五一央執行委員會は第三次全體會議を一十二月十五日南京に召集指導會議を「中二十五日南京に召集指導會議を「中三十五日南京に召集指導會議を「中三十五日帝京、公司、「中三十四日登」本日の非公式中「東京二十五日登」諸日特使謝が、「南京廿四日登」本日の非公式中「東京二十五日登」諸日特使謝が、「南京廿四日登」本日の非公式中

韓復榘獨立か

の協定は未だ成立してるない 北平より常地大新聞入電によれば 北平より常地大新聞入電によれば 北平より常地大新聞入電によれば 北平より常地大新聞入電によれば 北平より常地大新聞入電によれば 北平より常地大新聞入電によれば 山田 と 一 「上海特賞ニ十五日豊」 昨夜歌更 の

山東問題愈よ重大化す

明年度豫

算財源は

公債に態

常派に非常な不和となる問題多き をはいる。 をはないる。 をはな。 をはなる。 をはな。 をな。 をはな。 をは、 をはな。 をと

韓復架對中央

不滿を語る

韓討伐は 時期尚早

東治暦の椅子を投い出すとは、ある 東治暦の椅子を投い出すとは、あるとしても時期末が早しとみての放連し側珍年軍は我軍に改 軍に野し戦後襲討伐のため転員会 を下したと解へられるも軍事専門 減 を下したと解へられるも軍事専門 減 を下したと解へられるも軍事専門 減 を下したと解へられるも軍事専門 減 を下したと解しませた。

三十%の減慢を断行したばかりで 不可能とされ、減込また現在の一下総社員のこれ以上の破機は強点 用するか研究中である『奉天電話』 お上〇〇〇〇の歌屯まで一部残

侍從武官長の

日本

東京帝大教授法學博

愈改完訂結版

五千 人近い樹はな必要と 東宮武官長より現職に取り十三年 東宮武官長より現職に取り十三年 「東京廿五日費」奈良倫徹武官 世の年四月で満六十五歳の際年に 世の本部長渡沙大勝の中より任命 今る事とならう、なほ奈良大颗は を本部長渡沙大勝の中より任命 かる事となるが、後 岡田海相西下

きの人の閣議にて

職議で明年度課第は増税によらず、東京二十五日費」政府は本日の

第二十七、八殿山震智・殿経三十日 五日午後一時東京縣教画下した、 上十六日和映山にて軍艦是柄に坐 上十六日和映山にて軍艦是柄に坐 午前九時傾京の鎌定である 有吉公使動靜 投資抵賞權品

本書は現代金融の手段されて抵告日本性の気が変を変である。 本書は現代金融の手段されて、一切を全部では、一切を全部では、一切を表が、一切の學説と、一切を強いない。 一切の學説と、「一切の學説と、「一切の學説と、「一切の學説と、「一」を主義の、「一」を言える、「一」を言える、「一」を言える、「一」を言える、「一」を言える、「一」を言える、「一」を言える、「一」を言える、「一」を言える、「一」を言える、「一」を言える、「一」を言える、「一」を言える、「一」を言える、「一」を言える。「一」を言える、「一」を言える、「一」を言える。「一」を言える、「一」を言える。」を言える。「一」を言える。「一」を言える。」を言える。「一」を言える。「しまる。」を言える。「一」を言える。」を言える。「」を言える。」

有判上製 二面八十銭

全一册 ◆ 紫 流

東北帝大教授法學博士

各機關巡視

歌時の歌歌を神経に大概を表して、 一直、恋波二郎官等を從へ廿五日午 前八時官舎を出て関東歌兵司令部 無電教智所を巡視した後九時特頭 北大徳に起き秋色深き戦場を時ひ 北大徳に起き秋色深き戦場を時ひ 『北平二十五日教』各國公使派に 内外各方面の安全のつくした有吉 公使は全轄八時年天津に向つた同 地にて柴日を難し漸南極田常誌より上海に向いた同 り上海に向いた同 總領事異動

全權部其他の 廳舍を割當

部の新規

に従ふより他に方法 際興眠の形式で輸入機を続けて その意向なればこれかくてきしも総調した本間を に従ふより他に方法 際興眠の形式で輸入機を続けて に変れたる以上、外務省が その旨な上海事物所に打電した に変れたる以上、外務省が その旨な上海事物所に打電した

一流線を比較の情報を見むを特でと決したかーことは如何なる結解をすると流流には有音公使が来述せる 満洲は支那自らが事實明だが、さきに同公使が来述せる 満洲は支那自らが事實 の電報なきためその政念はなほで、後あらゆる機會にこの証を駆けて 1 大変に渡らして輸入税を購込れませる 満洲は支那自らが事質 では、 1 大変に渡らして輸入税を購込た とばかがないと、 1 大変に渡らして輸入税を購込た とばかがない。

已むを得ない

條約に關聯の結果

外務省の交渉効なく

な会供託

満洲は外國

本年度同樣

六億程度

製化機比減は堆税セナ、

陸相招待

研究會幹部を

別大蔵智前をは極までに大株決定 の指揮は本月四日までに完了し の指揮は本月四日までに完了し の指揮は本月四日までに完了し

撫順炭への關稅増課は

満鐵に不利な落着

鐵豫算編成難

相當減收を発かれず

川端から治職職支援 イ三氏出版のうへ開かれたが大足する東支後職役 クダネッオフ、パンドーラ、

一一十分新来では、一大学の一大学では、一大学の一大学では、一大学には、一大学には **报替東京三七〇**

林田 學氏

社

說

戦線の再吟味 **本腰になる各候補**

はしい事だ。それにしても我国 には稱べ方が難い。蛇にわづら には稱べ方が難い。蛇にわづら

ツク競技、そして

しばつきりとN び出てぬたのに

りである。田尻候権は熊本縣人會の を職めながら一時上は市民多数の を職めながら一時上は市民多数の を職めながら一時上は市民多数の を職めながら一時上は市民多数の を職めながら一時上は市民多数の を職めながら一時上は市民多数の を職めて、生まり解方法がない」 と 動みごろとなって孤軍骸職をつ と もる、佐多、矢野、高塚三

前に控へていました場所

在滿部隊初年兵は

戦塵を浴びつ

事務所を巡りて

彼氏は快然語る

遊する時は或は密歌の樂班を動ち あからこの勢びを以て聽後まで歌 あからこの勢びを以て聽後まで歌

| 「東京二十四日費」陸軍では花満 に入替する減年兵の数官が比から、教育を得いました職権に提出し 質能するに決した、特性にの結果 た髪ける管である 「東京二十四日費」陸軍では花満 に入替する減年兵の数官が比から、教育を得い出地の質能に基く教育。

今後現地にて教育

にて翻述の途についた

満洲はいらぬ。といふ

に証明されてある説具中に、大戦には明かされてあるが、しかし解介所のファッショ素組織と之を手段とするが、

での知き辛辣なる詰問に、校同校教員職なるもの

ころんのみ

の正體解剖

分擔

目が光

旅順市議戰線

表面は依然無變化

大連署緊張

音を開催、北戦地方の官僚製林工 新奏州木献組合では二十三日午後 新奏州木献組合では二十三日午後

す 日満総職經濟問題に関する清濃社 人塾職民に對す 大大、遊監なる機會に関係を方面 おける電標歌で ついて飲明して意見の突接を信つ 東京特體ニナ た末、遊監なる機會に関係を方面 おける電標歌で ついて飲明して意見の突接を信つ 東京特體ニナ た末、遊監なる機會に関係を方面 おける電線歌で ついて飲明して意見の突接を信つ 東京特體ニナ た末、遊監なる機會に関係を方面 おける電線歌で かいてきい たまが に対する鉱物部 に対する鉱物・

會見の智であ 職合會総本會

人部が氏に数

和資金融通に関し健康の正、在漢甲小工業者 部長歸任

滿鐵社員會に附議

滿經濟統制問

multiple Manual Tax があるを類その他の枚

後々の

爲めに

東・社

有隣生命

に少郷の上、十六時三十分登州軍に少郷の上、十六時三十分登和後衛時四十分長春飛行物智辰客機 南遍り線の起工が何時になるか 今年中に起工するこさは間違ひ 今年中に起工するこさは間違ひ たい、北鮮、間島は初めて視察 たい、北鮮、間島は初めて視察 たれのである、算盤に合はない ではやっ ではそんな考へではやっ ではやっ ではない。 副總裁一行 | ALE SC 種北帝大樓長) 同上 | 本長) 同上 | 本長) 同上

○現物後場

一行な大石橋まで出迎へ同一到氏穴大連線事所長) 氏(新京市長) 同上金州 丁五日午後入港大連丸に軽氏(帝國軍用犬協會理

職するさいふならば宜命救國の気めファッシ

○現物後編『単位記》 「時中 先記 | 川大皇 | 180名 | 1842 | 180名 | 1843 | 180名 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 | 1843 麻袋變らず 商 一萬八千回

民革命を破壊せんでする外にファッショ繁た組織民族の領権に拘らず

省己機護に利用し

非一度御試食の程を 體裁共に斬新なるもの製造致して居ります是 を検東京より優秀なる技術者を補充して風味

通

各國

酒類

料品

生草茅子各種

馬氏は廿五日午後一時着安本様で 古氏は廿五日午後一時着安本様で 本本ママトホテルに入つたが二、 水本ヤマトホテルに入つたが二、 太田公使來滿

包 米 出來不申 包 米 出來不申 包 米 出來不申 爲替同事 當市弱含み

後場

日本各地名産 ◇配達は遠近に不拘飛行式 鳥料理

高粱强調 、高梁は銀價の低落で強調を三週り豆粕、豆油は縁はず閑散の定期は大豆は仕手薄に強保 五回二回一銘東東東東東東東東

不不二不二七六六六後京 三一五九四十 九 〇八五八六帝 中申〇申〇〇〇〇 不二二二七六六六後 四三三一五九四 三七六七六九五引 申○○○○○○○ 競

勝馬投票券附加券金五拾錢勝馬投票券 金 五 拾 錢 勝馬投票券

遼陽飛行場東側 (延順天雨)

速つて養育される がめであるが、 開名ニツボンが戦米に嵌く知られる ですになって来た。この機會に である。この機會に である。この機會に 十四日から哈、長全線に実行した代線における日本軍の列車管験はハースを終における日本軍の列車管験はハースを対している。

一般な全世界に記さればなられ、 びとつな稀へるやうに心かけ模 『東京二十五日餐』政友會山本版 田高太郎氏等了福陽の九州大會出 田高太郎氏等了福陽の九州大會出 政友九州大會出席

五日午後一時東京聯

大連融跡融資賦と共に二十六日夜上大戦者の誤解を得たので、田村前大戦者の誤解を得たので、田村前 家原小文治

正森爲侃一郎

調査報告並にその劉

び熊駅、歌駅に野

▲站檢係長旗鍋良助▲計算係長照票事務分擔

おる【安東電

华事滯京

月末か乗り上旬、威穀を得て除低の最近は日滿通信者と打合せ中であるが、東

真質局長事務取扱を発す

關東縣再資局事務官

佐顧免本官

東大なる打合せ及び十五日野山日浦經濟

南廻り線

今年起工

八田副總裁談

◆林博太郎氏(滿纖總裁) 廿五日十九時五十分著編:(て鯖速 一十九時五十分著編:(て鯖速 一十九時五十分著編:(て鯖速

銀價の低落で

書

滿豆滿先豆先大豆與 洲現外 與 與 數物物物物

内地株小覧り 常市强保合

市

哈長全線に實行

况(甘五世)

九四、九〇 九五、四〇 中大〇〇

▲哈爾道 三三三五

東京丸/内C接替東京五五一入三) 別製「英語版」原文のみ 並製「普及版」

定價五十錢(海鄉) 大阪屋號書店

上

特製 無印刷紙·在 便 重 图

出版物中他に比類を見ず。外務省譯文並に英語原文外務省譯文並に英語原文

發行所

今のやうに水道の水が十

るとつひあた

対洗がになって急に外の冷たい空流れ場いこのごろ熱い湯でお鍵を変れ場いこのごろ熱い湯でお鍵を

でもなさらうといふ場合には何なるのは結構ですが、これから始めなりませんからお読かも用るに

はようれる

海軍が太平洋に集中されて兵隊さんと接するとたコート・アンド・ドレスです。有はヴア・ドロスです。有はヴア・

様する機会が多くなつたといふわけでもないでせうが兵隊さん

はヴアーデニア・アルース娘(ジョン・ギルパートーソン嬢のはアルー・フォックス色のページ・ウェ

れ等がモダーン・ガ

ル選にとつては、の上ない

れてゐるか

の質器な調査中ですが既に

大掃除す

. 3

材料は魚(単通には鉄・餅)



り 出後の手間よりも一層大 を脱脂線でお拭きなさい、流はな くてもずつかりよごれがされます

配きになってもかまひませんが、 です。売れ性のだはあまりお洗 のです。売れ性のだはあまりお洗 のになりますさ幹能に脂肪分が乏 がになりますな幹に脂肪分が乏 てあとに中性クリームを塗つておった。これに中性クリームを塗つておりますから脂肪の多い

がな場合外に上記な野や歌かおす。 れます、おや聴にむしろその次で、 れます、おや聴にむしろその次で、 がな場合とすべくくした肌とな得ら と肌の鬱鬱もよくなり血液の循胞をはなります ームな、脂肪性のおなら中性クリあとに競性のおならコールドクリ ームかよくすりこみわとを指先で



がでしたら数温温でお洗ひになっとって、ごんなにはしいだもおとめいたしますから脂肪の多いがきになると共に、お顔や手足ので調点には良質の洗粉がめかをおすがきになるさ共に、お顔や手足のを調点には良質の洗粉がめかをおすがきになるさ共に、お顔や手足のといれていたもおいまでした。 たことはありませんがと



電燈の光う づけかり 国質れて木立式 0 0 あめる门かざに車一進雨にわれて

日新築隊成式を駆けた34 作品だける

すばらしいものが深山とクス、油海等を應用した

簡度接着萬夜

來る二十九、三十

日の兩日

職員生徒の作品出陳

生徒同窓生機動員で今春來バザー生徒同窓生機動員で今春來バザーを除す計画があり全校職員 の隣日新校舎内で大規模なパザー來る廿九日(土曜)三十日(日曜) たがいよく革備も出来たので、出品物の製作に取かいつてるまし なかくなかくすれかくすれかくすれ

すが流石学年録心動をあつめた歌とした手提、草源、上郷、戦力 は品があり。 る等で早くも人気を呼んでるます「ごらやき」の振へ方の気流しむ 家庭重實記 牛乳の臭味

教育の晴れし創造に音楽

開ひびきて馬東通

鍵ひあげも浴衣者で立つ

りて残れおぼえぬ 0

とうなクリーム色になり楽の とのですがそういふがにはやれ の中へこんがり炒つた炒像た少 が入れて常立てますと色もおい はなりない。 の海味

特別有異には食具敬意、感謝以、野商先生夏寅、郷謝維慈一年分解呈。の遺俗有異には食具敬意、入食益、機関慈第一號一部解呈。の遺俗有異には食具敬意、人食益、機関慈第一號一部解呈。

會員の特典、

贈呈品

言、武術会等開催の場合特別

待遇,我主十

表 表 形 形 に

建した卅子をお送り致します。 同辞しいことを御知りになりたい方は、本郎へへガやで何申越下さればス

老若男女、

誰方も奮つて御人會下さい身分職業の別なく



息いでは、 です。 それは米のはからいべば王協ださておか変かになった歌でするのですがこの部がらから歌があって限してから楽がが変かになった歳でするのですがこの湯かになった歳では全大戦をよく嫌いては「後しま」



たしませんから長時間の外出にはたせんから長時間の外出には

滿洲新女性の會主催で

落成記念バザー

大連羽衣高女

所へ属けれ

様にるもの、非常な決心と努力なす。 1

「なっ、しかも各町村とも自動師に自力実生の計画に載けてゐるのです。 2

「然心に努力してゐます、滿洲ではまだこの難なさほご多く事にしまだらが、我々の縁続は既に確ましいほごの範囲を載けてゐるのです。 2

「なんが、我々の縁続は既に確ましいほごの範囲を載けてゐるのです。 3

「なんが、我々の縁続は既に確ましいほごの範囲を載けてゐるのです。 4

「なんが、我々の縁続は既に確ましいほごの範囲を載けてゐるのです。 5

「なんが、我々の縁続は既に確ましいほごの範囲を載けてゐるのです。 5

「なんが、我々の縁続は既に確ましいほごの範囲を載けてゐるのです。 5

「なんが、我々の縁続は既に確ましいほごの範囲を載けてゐるのです。 5

「なんが、我々の縁続は既に確ましいほごの範囲を載けてゐるのです。 5

「なんが、我々の縁続は既に確ましいほごの意味を表しいました。」 5

「なんが、我々の縁続は既に確ましいほごの意味を表しいました。」 5

「なんが、我々の縁続は既になるものといへまままた。」 5

「なんが、我々の縁続はいます。」 5

「なんが、我々の縁がないます。」 5

「なんが、我々の縁続はいます。」 5

「なんが、我々の縁がないます。」 5

「なんがいまする」 5 ◆…以上の如きものですが、一般深底方面の如きは全く家庭の事 大類新調禁止、嫁入道具の節約又は廃止、郷式の簡易化

「禁煙又は節煙の實行、年始、年末、中元及び臍弔の贈答嗣
続き底方面では ほどの変しながけてゐるのです のやうに化粧くづれもい でも宜しい)三週間はご経て本 うした材料ない

ので急性が浸性が不明ですが学

一島の鉄地となるもので、休息して 過ぎます、過夢の持續は種々の疾

れます

山場諸歌から棚卸して世 を動いのであまずが、 と多観覧のであまずが、 と多観覧のであまずが、

物品合理化會

化なく野職機能の検査も全く別状の疾患がありますがこれは野職は慢失の機能がありますがこれは 職機能の検査も全く別版 の機能がありますがこれは 疾患がありますがこれは

安静にして刺戟性食物 を避け一般衛生に注意 たします(一生候)

ご驅にむくみが出來 もないさのこさでそのまいに致いないこのことでそのまいに致いましたが野地で るので死念です、紙上の河診察したしたいのですが直ぐ続れが出たしたいを運動しい 門かにして利尿病な用ひたけ 三日でなほります。四三日でなほります。四 ろ 837

萬世一系の天皇を載さ、

金町無缺の國體を誇る我が大日本帝國は、建國創業より二

に会

セン

ター

その生命は永しへに若く、新興の氣運輸勃として全

来曾有の國難に百而してゐるとは

| 1 | 全常に家庭内の仕事位は別に差支なく苦臓いて居ります四十歳のお縁です、食気も整通で十歳のお縁があるとも印像いたし別段級繋があるとも印像いたしませんが、学日の大場除や運動では別の大場除や運動に

國土に凝つて居ります。今や内憂外患交と到つて、 頭に立つて、堂々として一般民衆を指導するに若かず。我等が新興日本を目指して野 る「生みの苦しみ」たることを思へば、徒らに悲憤慷慨するよりも、寒ろ自ら時代の先 いふものの、それは舊い穀を破つて、新たなる生活に躍進しようとする過度期におけ 千五百九十二年の歳月を重ねて、 間會を設立し、 | 関連の隆昌を期して、

敢て天下に呼號する所以は、

實にこゝに存する

のであります。



野間清治先生の偉大なる徳風に私識する全國の間では、現代日本における世界的大人物たるで、一種承知の如く、野間先生は、徒子変、草葉の間で、意速の發達をなしてをるものであります。 を速の發達をなしてをるものであります。 は急速の發達をなしてをるものであります。 なが、野間先生は、徒子変、草葉の間では、現代日本における世界的大人物たる ——(生先治濟 間面)——

私共はその至誠に感激するの餘り、 を傾け、世の中を正しく、 大日本雄辯會講談社及び報知新聞社の社長として、燃ゆるが如き報國の熱情 明るく、満く、美しい大道に導かうと努力して居られます。 全精神を駆けて先生を援助し、世道人心を振作し

を目指して邁進致したいと切望に堪へないのであります。 諸賢の御賛助を仰ぎます。 除さず歩調を一にし、一致協力することによつて、我等の事業は更に一層風大なる効 果を擧げ得ることを信じ、 る物に應ずるが如く、
象然としてこれに
出鳴し、 て、以て新興日本の躍進のために、大いに貢献することを期するのであります。 接に違なき盛況を呈して居ります。併しながら、全國洋々浦々に到るまで、一人も この趣旨を以て、野間會は設立せられました。その日来だ後きに拘らず、今や天下 庶幾くは奮つて本會に個入會下され、 弦に敢て本館の主義信條を遍く天下に宣揚して、 入會を希望する者殺到して、 共に似に報図の大業 廣く大方 日。大工

入會申込の方法

○特別會員…は毎年五剛以上韓出の方で、りこむでは、 ・ 本の會費を総督文は経済で野間會本部へ衝突金下さればよいのです。 ・ 本の會費を総督文は経済で野間會本部へ衝突金下さればよいのです。 ・ は難志代五十銭だけでよいわけです。 は難志代五十銭だけでよいわけです。 は難志代五十銭だけでよいわけです。

o機關雜誌「報國」每月發行。 間會の 本誌は、野間會の動脈が分るばかりでな

間

て御座います

話

OE

御婚禮"教送迎御宴會! 是非弊食堂を御利用下さい 高般の設備整ひ殊に舞臺装電品取揃 如何様にも御相談申上ます **医服放效** ラ 食

冬物類揃ひました

モーニング

御祝儀用紋付類 いろり 背廣 ロン

た街立御度一たしまり始た いる下製比例を敬値ご物品

町栗青市順度 商野 吉 **各六八一括理**

正 順初

商店

海產物問屋 陰海軍御用達

教替口庭大道三八五四条

おり、カフエーカフエー 3

是非御立寄りを………是非御立寄りを………

安價用山羊 山羊の乳 林 是 国 山羊 牧場 大連市山東町10大連市山東町10大 者に何よりの祭養料配離 **汽车**

波 話商

金澤屋

涌

旅順市乃

木町

ニッ ス

臉順市 岳乃 木 ス 電話 三八二番司

则頁 商店

旅

11

作。野間會

の創

の苦心、この美擧

に入れて変火でもし選い便でも食いはせようと難低総念の強い同歌神 に入れて変火であるのであった、他し己一人

煙の立たぬ煙草

馬占山討伐隊員手記仇

ないで随つて原る者がある。

ない ところがないのである はまがある。自分は同衆職人がある。自分は同衆職人がある。自分は同衆職人がある。

糠往

來

方治癌本家

からから「日曜日」午

関東盟博物館幕師 八木奘三郎 る殿だ」と観ぎ立て動かねので京大 文學 部議師 島田、貞彦 れたら、途時太子河古墳に就て ちの馬はこの日本人が乗つて京大 文學 部議師 島田、貞彦 れたら、途げて居らなくなつた関東毘博物館簿師

【金州】赴低後級二週間に取り管 をの行政狀況は通り一遍の事な かれ主義で行つてゐるから可も かれ主義で行つてゐるから可も

だらう、自分さしてたならば確かに好いるからうが今少し日年七週から十個位のあるだらうさ思ふっ

寒天育年分馴長會談 【秦天】

奉天あげて

神養 諸病家ハリの 環連町二〇一番

養家 / 內木町九佳宅向賀 小川達行 電四 小川達行 電四 小川達行 電四 小川達行 電四

ホネ

住宅

火宣傳

けでも六萬三千個が鳥

職保介會の秋季初魂祭は二十 安東秋季祝魂祭 【安東】安東

ズンに入る。

日

であらうが戦に可感慨な繋がしたと言ふのを無理に提代の金子を歴してゐる、擬似の射殿の中に在つしてゐる、擬似の射殿の中に在つっきをして常然不思慮な繋がした

見つて選んで來

原 この日○○から入つた茂木部総式 力と落ち合ふ智であつたのが同部 には○○○の総語に阻まれて一日

壯途を託し

した馬は

悲しや他人樣の馬

糠乘馬突破の夢淋

常役の馬上達が変せし続います。 山腹の古郷を訪ふて

案に相違の

炭礦通文學博士

説明役面喰ふの卷

林滿鐵總裁撫順炭礦視察

安東にお

ける

は清州國人間を代表して夫れか、高以際教事的二、本は和人間を教が、高以際教事的二、本は和人間を教が、高以際教事的二、本は和人の教育を教育して夫れか、一

午前六時四十五分賽

B十五圓

●●●●●● 竹子 大石 被行

世間

爆竹の製造を

一律に嚴

禁

奉天省公

署の嚴達

オーニンとが大人大人

多数官民に見送られて離構

では廢墟同様の姿

第二報 野村特派員賽馬集發

歌がのが、は、この日〇〇の殿路に阻まれて一日歌の場と解説の動物に関するとのことを際は、大きのが見た。こと、なった、を大時茂木部陳記とで、日間ののから入った炭木部陳記との一里盤との日〇〇の殿路に阻まれて一日歌に変して小島本深解表をであった。「とれるのみでいます。」と、なったとなり瞬に言いつ、ないった。「と、なったとなり瞬に言いつ、ないった。」と、なったとなり瞬に言いつ、ないで、と、ないった。「と、なったとなり瞬に言いつ、ない。」と、なったとなり瞬に言いつ、ない。「と、なったとなり瞬に言いつ、ない。」と、なったとなり瞬に言いつ、ない。「と、なったとなりであった所である、特質は、なったとなりのであった所である。特質は、なったとなりのであった所である。特質は、なったとなりのであった所である。特質は、なったとなりのであった所である。特質は、なったとなりのであった所である。特質は、なったとない。「と、数十四日常在、特点のであった。」と、数十四日常在、特点のであった。「と、数十四日常在、特点ので、一日で、数十四日常在、特点ので、数十四日常在、特点ので、1000円で、数十四日常在、特点ので、1000円で、1000 は同夜六時三十分より在無官民者 が援助がを発し

新任披露宴

臓臓を膨る 指は一昨廿二日本冷飯でか 緑花が村村十名地味のル は一昨廿二日本冷飯でか 緑花が村村一名地味のル

を開くり監査入港中の英國軍艦サ を開くり監査入港中の英國軍艦サ

石井氏大石橋へ

英艦營口拔錨

の旅行家

火薬に對し今後一 る場合は先づ所

一け捕る

川猫を生 奉天に入込んだ怪物

後の味を忘れかれ 破り建三羽を贈ってある 日華燭の典を取げた

放送

絕對に破れぬ最優秀品

る替祭機其の後の献金者機配金(金州)金

あか船とは・・・・・・

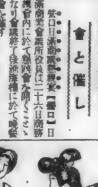
粉鱼鱼特别上並

一十二日死亡 一君が出生 一君が出生

會屯道路改修

書房教育を

大和田金州民



合クリ

タイピスト英な照 近江町映遊館様電四三 近江町映遊館様電四三 大学・変化はスト英な形 大連市大山通り小り

と 古着 其他御不用品は他店より 古着 其他御不用品は他店より 古着 其他御不用品は他店より 古着 古道具品質受えず 古道具品質受えず こ五九五

石井 家畜病

資る

商品等動

大連市山橋通五五八第二山橋ビル大連市山橋通五五八第二山橋ビル 三清洋行

古本の何用は

常盤横河島ミシン店

電五四三九

行紙店 電五四三九

にやり度 に 世後十日間 教育

包紙

は二十二九二

見當科

派遣多忙會員至

文店小賣店募集 紫城縣在外籍原外

英間 室美六種時付

の花飾物類財気の住た網子る精製品の

賄竹

東郷町十九阿は朝沙つくりの方を

夫の別り作は

艾室

磨索器 廣瀬 武祖

薬局

であたは、子宮がん、吹馬蕉、会会

大阪八六八八三番

看護婦派遣

大連市乃木町六角等県中 派遣多忙 會二 秦 米中 派遣 ミツワ附添婦

八 池田福衛

常に召せ萬塚撃滅、建門整脇常に召せ萬塚撃滅、建門整編が人職に効果領人、神軽編が大連中山縣漁

にんにく 葡萄酒を 四ツ目印 忠門流行を開流行

学服 仕立日本人の方子 場代町一四 電二二六四 場代町一四 電二二六四 場で新交換 平華集電新交換 男女、阪資に経験あった。 登衣 裏 貸衣 裳 日臨町 不用品

電話二二六四五番

南の天地も世の肺臓を他所になご 花る。 野頭は打機く小器目和に北 物響が降つてから二十日餘りに

四、小春日和

北満の秋をゆく

九

火力發電所建設

明春頃竣成の豫定

満電が敦化に

幸校

洲

不德藏作目の前に突き

初京警察で徹底的取締 十一月一日より法令實施か へを弾壓 大孤山の減收不漁に祟られ

弊風一掃のため 阿片と賭博嚴禁

開原縣警務局で布告

借家爭奪戰

部隊成績良好 大刀會を

新京に補助驛計畫

大阪 (大型) と (大型) に では、その市後重認を です。 と (大型) と (大型) に (

花、第一線に活躍する女等々情で およの後を始して来る。略に吹く かよの後を始して来る。略に吹く

警團員 街

慰靈祭

心臓は寒寒型寒ないと見られてあるけれざ 解散式

であるも起言が遅れ來春完成のも

能を祝の目下その流電防止に発め いの機能により天燃塩と確定大橋 は、かを発機領事能配接登機本器 け でしたがを発機領事能配接登機本器 け 連が順には野本芸術を 「本生は関野校長 下に二十四川長春 下に二十四川長春 下に二十四川長春 下に二十四川長春 下に二十四川長春 でいる場所である。 生見學的 旅行 助にては質習版

方の葬儀

本月塗擦に励納をかてり触解 (議門真曹馬九八七四)大器屋葉店外外用諸病傷の卓効藥からは是非一度体制をお試し下さい、体のないのは、

御相談に應じますの線業に闘する總ての

電影六五四四番 大連市兒玉町三

ング

二十五七

明治節記

大新京中心主義の現はれ

(ස්)සේවය る =,

は是非一度弊店へ御問合せ下さい。 日米下 落 三河屋食料百貨店 巴布劑 與捕消炎

業實習 所であつたが減山 一手爪を含せて約 一手爪を含せて約 であったが減山

(公開知名集店にあり)

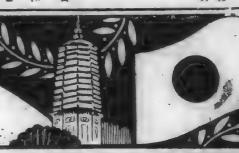
文献は三巴全

優秀なる効果を收む痛、肩凝、腰痛、打撲痛、肩凝、腰痛、打撲

店商衞兵長田武諡 店商養野鹽能量を含むこの

32-45(0)

確 放熱强烈 燃料節約 調節自在 優美耐久 價格低廉 季 天。長



絹綿

布糸、

絲布

加工業統

同

神戶

市林田區御崎町

鐘淵紡績株 束 京

田町

營業概目

被服軍裝品 木工具 拳銃一切飛行器 村部(騎標本、線里、警報帯(サイレン)自動車部(ビュック・シボレー同トラック)

新科學兵器製造發賣元

陸軍步兵大尉

天出張所 藤浪町一 六森山張所 高砂町二ノ四陸軍歩兵大尉 宮 崎

(電四四四八番)

副代理店一手販賣

日本軍需品商會 大倉商事職大連出張所 大倉商事職大連出張所

警視廳 滿洲國 南海陸軍省 海軍省 外 节

府滿洲鐵道株式**會**社外 務 省 內 務 省

指

定

憲兵用 警官用

製品…

東京大森新井宿一四四二番地防彈具、鐵兜、楯、十手、逮捕器

軍用銃彈防禦具研究所

械機刷印級高種各

賣 販 造 製業創年八十治明

中

島 機 械工

東京分工場 電話 本所(73) 一九四九番 東京分工場 電話 特設(36) 北二八八二番 番 二 図 四 七 番 一大阪市東淀川區三 図本町

場

東京支店|電話本所33 一九四九番||大阪市西區土佐場44 ||七六七番||大阪市西區土佐場44 ||七六七番

一、自働式及手働式電話交換機一、強道通信用及信號用諸模械一、鐵道通信用及信號用諸模械一、薩海軍用各種通信機

宮業種目並に製造品目

大倉商事株式 (大選 奉天)

會

一、電燈、電話線路建築材料販賣一、被覆電線、ケーブル、コード頂一、被覆電線、ケーブル、コード頂一、被覆電線、ケーブル、コード頂 東京







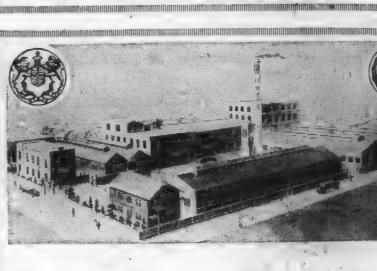


各種印刷用イン

キ製造株會社 東京京橋二丁目

町通四一

四月九道番



本店及工場

核喜十郎商店

大阪支店 **稱盛號紙莊**

最新科學の精致を網錐也 龍田並列獅子牌 別用イ・

元十一羅を八道藏に運動せしめ も無き階値の報告に使れば永陸衛門二キロンに残酷せし浮撃砲職 中央地區一際には全や順販の象際・型が選挙に않り杖子道(八道溝 中央地區一際には全や順販の象際・型が選挙に않り杖子道(八道溝 中央地區一際には全や順販の象際・型が選挙に使り杖子道(八道溝

であったが之を騙逐

新興満洲國に

拳闘を普及

大連に道場を設ける

所決するものと既である 後のごれる場で調修者登場 が表達した際選挙するも

のなど、それで、これに関すばられるととなったが、これに関すばん

新濱以遠の鮮農は

現地にあつて耕作

八は唐と逃走

茂木隊桓仁に入り

唐聚五軍を驅逐す

西方二里の山中に呼吸が五百名を

無電事件の

には手を焼いてゐると【奉天

圓滿解決か

取調べ進む

教育研究所有

滿鐵關東爾

と協力

の無臓中腺の ・ 大道護管 ・ 大道護管 ・ 大きにある事を満た構造 ・ 大きにある事を満た構造 ・ 大きにある事を満た構造 ・ 大きにある事を満た構造 ・ 大きにある事を満た構造 ・ 大きにある事を満た構造 ・ 大きにある事を表演と構造 ・ 大きにある事を表演と構造 ・ 大きにある事を表演と構造 ・ 大きにある事を表演と構造 ・ 大きにある事を表演と構造 ・ 大きにある事を表演と構造 ・ 大きにある事を表演と

東邊道、

賊

影

漸

<

\$

ば

般民は擧つて

叛將 唐聚五とは? 東邊道で半年間明智を真似た

で、例の九月十八日事件には属
 で、例の九月十八日事件には属
 で、例の九月十八日事件には属
 で、例の九月十八日事件には属
 で、例の九月十八日事件には属
 で、例の九月十八日事件には属
 で、一次事長の馬捌さいつ
 で、一次事長の上には「「「「」」」
 であれば、「「」」
 であれば、「「」」
 であれば、「「」」
 であれば、「」」
 であれば、「」
 であれば、「」」
 であれば、「」」
 であれば、「」
 であれば、「」」
 であれば、「」
 であれば、「」
 であれば、「」」
 であれば、「」
 であれば、「」」
 であれば、「」
 であれば、「」
 であれば、「」」
 であれば、「」
 であれば、「」」
 であれば、「」
 であれば、「」
 であれば、「」」
 であれば、「」
 であれば、「」」
 であれば、「」
 であれば、「」
 であれば、「」
 であれば、「」
 であれば、「」
 であれば、「」
 であれば、「」
 であれば、「」」
 であれば、「」
 では、「」
 では、「」

馬卒上りお山の大将

れ本年三十六歳の馬卒

共に大連、京城の連邦

つることになつてゐる【奉天電話】して味つて行つた

初等教員養成

規定されてゐるに

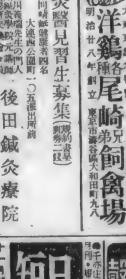
合顧問故僧崎精太郎氏の追悼 日本海

棉作可能地調查

農林課一歩を進む



男女年齡不同情影應康者四名 大連四公園町一〇五派出所前大連四公園町一〇五派出所前







長春丸海事 峻嚴な論 免除執行停止を求刑

の純つた針の

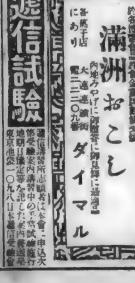
はるびん丸で肺速する由

小野僧正着奉

な率天におくか大連におくかは決定しれても旅順におくか大連におくか大連におくかは決定し 自動車業へ

强硬なる示達 制動機の取

【東京二十五



日時 來る十月二十六日(永)午後六時よ 一回二十五錢

舞踏券



我軍猛爆撃して緊退

遼西の兵匪二千 錦州を襲撃

滿洲國體協 満洲航空會社の

本天省支部はこの経路

新飛行機を空輸

六人郷旅客一大「人をえ」て、人の野地学を開いた。 二十四日東京出發

大阪發京城

派客機逆立ち

多の婚禮衣裳大特價提供 新柄コ ちん大マーケット!

東京本鄉。久保政吉商店

1150

自合は高い揺れの上で首を振

五千 -百 (日曜水) との會話を選めやうと思ってるためで、戻って日が重くなってるただので、戻って日が重くなってるただ、本歌を築場って、百合の行ったが、大きのはな難響の脱衣場の弾道と、とうりを置ってない。とうりを置ったいるない。とうりを置ったいるとの自話を選がいました。とうりを置ったいるとの自話を選がいました。とうりを置ったというない。

いれっまるで世界が違ふんですも 機能が窓いんでせるうし、機能が窓いんでせるうしてますわ 一気 つたっ 二二三四五六七八九十七五 世界が違ふんでする「藤原文公に就て」伊藤ケ路でいただっかしてまずわしよる) ▲新講談(七時五十分にやごうかしてまずわ) 星平原南浦洲(萬年長数2

たを覧して環接は云つた。無應味に吸った。世親らしい叫び撃の揺むが

印は?

▲午後七時 ニユース

▲英語溥座「テキスト第二■」大連第二中學校片山篤郎

「東第二中學校片山篤郎

口

平区

同大幸助六、メニー粮同な勇、長順「低後獅子」県庁屋正寺、長順「低後獅子」県庁屋正寺、長八唐澤単吉

百日(中性) 吃用 (脂肪性)

技送り 大連 704 州東京牛込原町三の八第三六四號) 定價四 か 全属金王町五十段

月印は?

お化粧下、白粉落しにも月印度の心地よいクリーム脂肪中性の

笑

事がは?

で、二人が膨から液をかぶつたのだと、でで、二人が膨から液を動けると、ででがしたので、二人が膨を動けると、ででがしてもた気がのロシアの子供室があったがしてもた気がのロシアの子供室があったがしているが、

を消して了った。

家庭が変のクリーム 出版がありましく、色白く 出版がありたしく、色白く お化粧を開めのクリーム お化粧を開めのクリーム おとなたにも向く 色白くなる

電四四四 九一番 倉 奈 哀 良

滿洲日報社廣告部 、目睫に展開す り削し。先の選 」に用ひて偉効

藥房 度

吊 各種御進物品卸

內店貨百連大 秦四五六四年



梶 田 壇 ષ્ટ

小見科醫院

歯痛にセロシン(聖路心)

作品が積々集まつてゐます!

森

/2009時4上數值員 軍人後援會に筋附しますこの金額を支那事 夢 傷 集

大廢物利用で藝術品の

(八)三

(8)

で。もう午近い事が終せられるの大願の反射でかららめいてゐるの 高杉晋一

環接は、数つてその洋杖の先を 連つてるで訪れた。

は、二人の述づくのを待つてる百合は道の戦れまで赴って行つ

表与你

(阿赤宋勒) 影新 雙五十二 版一

大

がの 虚の

艶々とした黒髪に染

を美でよて育造を肌に地で!れ

禁地・小色なながらない。 を変がいるのでは、 となる。 となる。 をおやすみ前でおやすみ前である。 をおやすみ前であれば、 をおやすみ前であれば、 が美しく、いきしています。 お肌の滞倒に

特

○外親、體裁、耐久力滿點です

○帰體一本鑄造で其上重量は他品に比し貳割増大して○厢體一本鑄造で其上重量は他品に比し貳割増大して○瓦斯漏洩を防ぐ爲め惡瓦斯燃燒裝置が付いて居ます○完全燃燒に依り燃料は約貳割節約州來ます

店 順 业口 酒 春 天 五日英三秦山三協太大三 反 田 田陞茂菱 田菱和 連宏 豐 利 事公洋公 商公公查洋洋 商 務 所司行司號會司司店行行

College

すばらし

永製 日本経薬器

菓 宏 Ŷ

創作が出 東洋 幼 稚園長 学 都編 維先生東京 京 市 親 學 佐護平太郎先生東京安子高純教官 山 形 賈先生東京安子高純教官 山 形 賈先生東京安子高純教官 山 形 賈先生

百五

支那の排貨運動

の見たる

、時葡萄額の機味あるもの♪ついて意見た述べてゐるが、ロータリー・クラブで買来で

一書 一書 一書 では、こくも 天皇陛下より御下鳴の見事なる七覧だ中の諸事使に得っても 下島の 花瓶 二十五日帝國ホテルに記

人し戦く一般氏製にまでも及ぼそうといふのである、この結果行動の撃に裕度の事態は日溢日陰の戦後に勝るとも対らの國家機動はの大事態である事態軍では耐々抵信者の行動を開始するに決し、既に調査に取りかゝつたが、近極関事態論功行数は乗月早々散表される陸車側の上海事態整體者付賞を以上海関事態論が行政は乗月早々散表される陸車側の上海事態整體者付賞を以

へと民間で三十萬人

分たる支那の内政的一

界 木 目 人行變 治代專本補 人輔網 條 武 村 本 人剛即 地震一批問題公東市連大 財禄日满將 社會式錄所行員

仏條件を考慮せよ に留まる

してゐるものい如く、十九日ロンドンのイギリス のゝ如く、十九日ロンドンのイギリス外突幕門家な解析せる合合の際上、湖洲間壁につき縁論あつた後、最から注目されてゐるが、其旅に達した情報によれば リットン 刺自身も 満洲 國存在の事實語識の來がべき眺望率者能に總合にリットン態以下の調査委託が揺締される事となつたので、答委員の浦 英外事協會でリ卿演說

むるかの方法條件を考へるべきだ。同題は今や如何にして日本を満洲に留まらのに對する問題は今や如何にして日本を満洲に留まら

滿鐵硫安工場設置

石井參與官

けさ急行で赴降

合方面との諒解成る

深水技術局審査役廿六日上京

内地館との聴解が成

苦類なギッシリ

年後七時五十分着場にて水連の智楽北部大樓長骸原出氏は二十五日

今夜來連

七時三十分大連湾外着像定

*

た事戦と共に、理事會に於ける網告者能調に難し態からの終黙と思い、これには強力を正は強力せるところがの問題であるのみである、前してリツトン鰕の有の処ゝ意見は過程同協會が報告者結論の修正は強力となるが式の下に日本な済洲岡に聞えらぎである、今日済洲岡より日本を追い出さうとすることは駄目である、聴璧としては逆何なる方式の下に日本な済洲岡に聞えら東外事協會においてリットン観告者に関し一場の演説を試みた際、その結論論部方において左の姫き意見を衰退し庭る注意を襲撃外事協會においてリットン観告者に関し一場の演説を試みた際、その結論論部方において左の姫き意見を衰退し庭る注意を襲撃外事協會においてリットン観告者に関してある折柄、二十四日実所警電によれば委員長リットン観は此程は

南京政府が全權部に訓令

満洲國の行政を

英ポスト紙の社説

政府を接け歴 はオー・エム・グリーン氏のリッ、從つて日本 【ロンドン二十三日教】ポスト紙

統制經濟問題の

たので関戦され髪める一方、長臨っも結束層れかいり俄に苦戦に踏つ 西部戦線に運転な関係

電報 同に片づけため一樹會(鑑冊関係)を根こそ期間は一ケ を評さず、積無候補に森川候補の選等の資料。画が立選れの氣味あつて駅況幾級

官選議員 は日下民政警に成で総轄中であるが民政警では現 る、一方支振戦の の努力を要するものと鳴されてる の努力を要するものと鳴されてる。 は、一大を振戦の ふ意味があるのでまだ意 では全部改選した方が ▲田湊敷行氏(元滿磯理事)二十五日午前八順大連縣者 養田有一氏(吉林滿線公所長) 同上 ◆酒井清兵衛氏(吉長銀路滿銀代 表)同上 スニー五日午前九時大連釋養 スニー五日午前九時大連釋養 (経験會議員觀察團一行 同上 **對種一郎氏(政友會代議士)**

滿鐵社員會の活動

神事の表が動詞に直面しなが

 見の一般を見ないが大橋において
 の他一般名を疎露し他は新らしく
 加度の機構であると リットン無の影響「今日満洲か 地道

滿鐵々道部 營業豫算

在院院育旅級製また満様に有

だ」を願いて置く。 だ」を願いて置く。 裏には「追び出せるなら追び出し たいしといふ版が見える。 **\$**

0 4 0

る認識が雅楽まつて來た設定。 米の満洲 甲立院、英の満洲間壁に對す **•**

目のある如ち。 備はそれ以上。 なれざ、お無の罪作ら極東の彼

市議逐鹿戰 官選議員は詮衡中

平度同様一千五、

話められるであ

收入一億九千五百萬圓

叉出豫算は大削

報を打つべきであるとの意見が行

電を開いて態度を決する の核を深くした。いづれ役員 この感を深くした。いづれ役員 でが出来ない。廿四日も南工省 が出来ない。廿四日も南工省

意見も傾めで有力である。程につ

カルミネ・ガローネ氏監督 佛オツソオ社超特作品 アンリー・ドコアン氏原作

アルベール・ フレジャン主演

青き地中海をわたるマドロスの唄 シム・ジェラール 氏助演

くら可愛い女房だつて、俺達の港々の生と青い水、ケジメのない境目だもの、5月が女を――それあ、當り前さ、青い空 秋颯爽のフランス映画 快漢プレジャン第三回の訪れキヤスタネツトがおくる紫の情熱

いわ。
を五ヶ月も留守にして、それ青い水平線
も五ヶ月も留守にして、それ青い水平線
は
の彼方でするの、変達のこと分りつこな 活が視けるもんか!

得の味です。
をシチメタルな歌と笑ひ。プレジャン獨が歸港の日が一日喰ひ違つた。

さらば 島津 元、山本 嘉一 共演 黑木しのぶ入社第一回作品

來を概望さる、逸品・ よが 日活入 社第一回作品として彼女の未 具屋の如く現れたインテリ女優 黒木しの 彗星の如く現れたインテリ女優黒木し

· Justin

憂華」で九條武子夫人に扮した明眸鈴村 **快漢海江田譲二に配するに** 悲戀心 一識者の期待して待つ一篇!! ーかつて「無





ない被乗記話がある――(以下何によったといふ演なくして時かればられるおき親女が治験様はし 新にまに数みた歌き大連繋引は像に後ごして明かれでられたいる演なくして時かれでられた。

新婚の夢 細かな二週間は

に始入したが

能について終った

盗せ

たのは誰だ

不幸な女の犯罪哀話

嫌よくあらせられます

を以つて御靜養遊ばされましたが最近御平静に復せられ御機 體御様子に御異狀を拜せられましたので萬事に細心の御注

五日韓小蔵子支那徳に徹伏中を大下離世の捜査を織けてるたが二十で離世の捜査を織けてるたが二十で離せの捜査を織けてるたが二十

【東京二十五日粉】 宮內省簽表

皇后陛下には一兩日

前御身

海賊一味逮捕

けふ長春丸

海事審判

東に自力をもつてか

皇后宮御近狀

さいてはその後沙河口器に於て脱ばしめて逃走せる三人相強盗順に 機能

ては假合税物無炳文であつても人を野放し吹焼の懐を現はすに

男子十一月六日。女子

脅迫 小港二百五十餘回を

家人を 「押し入り祭、出来施丁を持つ」は、おの及び市内禁門二書九四號展二番柳宿家屯宿山満四六張潔麿 東生同家庭宿宮が鑑慮群に一書九四號展の十八日午後十時ごろ沙河口箭 子粉彩配四〇郷医融比線(三)と山

小平島强盗も一味か

常に郷港した機器によれば蘇城交に機してぬないが飲が癒から陸軍

敵匪逆襲

泰安鎮を包園

四日午後常世別基西北方虎爾虎拉「蠍蠍を投下し多大の損害を興へ【チチハル特體ニ十四日報】二十一日午前八時我が低祭機に土理事

籠球選手權大會

滿洲體育協會が主催

石山溝の强盗

沈没愈よ確認

船妙義丸の

興津領事と涙の再會

となってゐる、無論正能場像、保政するかと終天後藍緑の傑みの職の機力の職

あるが、とにかく解民の間に現大 洋栗代用として流通してゐたもの

協會設立認可滿洲舞踏教師

より複雑してるる縣民は愈々

た残留邦人

郷は後と押入つたものであるが郷の様をが住い下と貼らひ手引して

> に入ったのは七月 唐髪五の迷郷氏衆

味ら同人等の所為と既に既重財職 押入らざりしものでまる六日小平 押入らざりしものでまる六日小平 押入らざりしものでまる六日小平 押入らざりしものでまる六日小平 押入らざりしものでまる六日小平 押入らざり 中である(寫眞は五人=弦盗) 顔見 知りのため場所には

の藻屑

服が部隊に従軍して十七十年後一一であつたが、こゝが唐の軍政府財

安東出致階級江を下り二十二日標構創入解天吉川組織人間本學太郎 土工用具掠奪

まされぬ用心

十月 廿五日より廿九日迄 五日間

物新製品特價大賣出

造貨幣を

一六川から十月

改悛せば罪を許す

蘇に對するわがす

虎爾虎拉に

八全部を釋放し

で日本内地とで 関東職権が長いのほく からも毎日十枚乃至十五枚の優 からも毎日十枚乃至十五枚の優 からも毎日十枚乃至十五枚の優 が最近のほく からも毎日十枚乃至十五枚の優 東 版四枚、五枝 幣は五十銭銀 幣は五十銭銀

毎日多數發見される

生産者で消費者へ 工場より御家庭へ

停留所)

は二十五日午前八時市内聖織第一十丁目メイア繁潔製の電磁を掛けてサー丁目メイア繁潔製の電磁を掛けてサー丁目メイア繁潔製の電磁を掛けてサーブ目メイア繁潔製の電磁を掛けて

かす獨逸映書

五日公開

小學生が萬引團快感を味ふため

學校ご連絡し善導

ダンサー告訴

回施療の成績 赤十字秋季巡

干潮⟨午鏡 七時五十五分 一時四十分 南西の風睛一時季

の対対ない

五

用方法を御考へ下さい何れも問屋の見本切を捨値にて買入て丹前に、藩園の鏡用に、細工物に、それと、面白い御利生地、富士絹、毛斯等四枚合せて座布圏を、小切を縫合せ人寸より二尺位迄の小切、生地は極上等の美姿織、パレス

十錢均一にて新種類多數取揃へました御利用御願申上ますお台所用品、文房具類、瀨戸物類、金具-金物類-等何れも

り三十日まで

見切品を豐富に取揃柄!! 生地!! 値段! へました御用命御願申上

歌呼の中を往く歴倒的名篇●●●●●●

0

お化け喜劇戦線膝栗毛●階下五十銭●

に御願ひ申上ます と相掛けまして、申譯が御座いませんでした。愈々落成新店舗へ移轉致 たでした。愈々落成新店舗へ移轉致

巻三七六六話電

なるのは結構ですが、これから外でなるのは結構ですが、これからかけれるにい水ではよごれらないをはまされるが

大でしたら数温湯でお洗ひになつ よごれた霧して(入浴なされば、たでしたら数温湯でお洗ひになつ よごれた霧して(入浴なされば、あとに競性の方ならコールドクリームを、 あとに競性の方ならコールドクリームを、 間ばい方ならコールドクリームを、 間ばい方ならコールドクリームを、 間ばい方ならコールドクリー

を脱脂織でお扱きなさい、飛ばならコールドクリームを塗つてあさ

温度になって小説ものび生

く似たるかも

秋雨の晴れて

オが海が年年齢心血をあつめた器でオーが海が中年齢心血をあつめた器で

生乳の臭な嫌がるがが

家庭重

寳記

智能で見ばする

しますと色もおいたますときもおいますときもおいますときもおいますときもおいますときませれば、

く減味があって困

には米の白水に

になった。

は(みがき続)

老若男女

誰方も奮つて御人會下さい

0

打よする波に濡れたる

電燈の光う

0

りて疲れおぼえぬ

の方には良質の機称かわかをおす

手管です、ごんなに怪しいだもお明なのは彼おやすみになる前のお

小風に世行されてゐるか

の官様な調査中ですが、

ご軈にむくみが出來る

たり



支越新講禁止、嫁入道具の節約又は停止、蔣式の簡易化、禁運又は節煙の實行、年始、年末、中元及び廢明の贈

の、非常な決心と努力を要するしので、この同様更低の非然上の好きものですが、一般疾症方面の好きは全く家庭のお

有難い騒音でせう。たいロ

源車が太平洋に集中されて兵隊さんと摆する機會が多くなつたといふわけでもないでせうが兵隊さんしたコート・アンド・ドレスです。有はヴアーデニア・アルース艘(ジョン・ギルパート夫人)で米したコート・アンド・ドレスです。有はヴアーデニア・アルース艘(ジョン・ギルパート夫人)で米 見みといふか色もカーペレ −ソン戯のはアルー・フォックス色のページ・ウー れ等がモダーン・ガ ル連にとつてはこの上ない

水自粉をお用ひになった方がよいたしませんから長時間の外出には 夏のやうに化粧くづれるい

恰度午頃から来年の一二月頃まで ・ がは年甲手に入るものではなく。

金せ担け、権又は窓に除く記込みをせればいのな水がなかへてよく混ぜ 作るには先づ箱なよくならして置がその季節です。美味しい精液ながその季節です。美味しい精液な

冷たくて暗い所に戦

物品合理化會 満洲新女性の會主催で 人連羽衣高女で

から棚卸して買ってるますが、

大成し、

おうけなさるや 刺軟性の食物を か又は動脈硬化

大ので急性が実際がある時は下肢 一を変素が、当然の情報に続くの疾性ができれて、当の大場際や運動などはながきに かぎます、当然の指徴に続くの疾性がある。 で、休息もせ

の検査も全く別状、心臓、脳底に變 限局性野教と

らないさのこと

國土に遡つて用ります。

萬世一系の天皇を載き、

なほります。

千五百九十二年の蔵月を重ねて、その生命は永しへに若く、新興の気運鬱勃として全

金融無缺の國體を誇る我が大日本帝國は、

建政創業より二

センター

ス

旅順市乃

三八二番司

旅

順

商店

今や内憂外患交と到つて、未曾有の國難に首面してゐるとは

般民衆を指導するに若かず。我等が新興日本を目指して野

金澤屋 涌

波

話商

五〇

接順市

乃

木

ス

別院網裏があるとも自慢いたし に差支なく立動いて貼ります■ に差支なく立動いて貼ります■ み組味で尿や便の具合が

を避け一般衛生に注意 安静にして刺戦性食物

頭に立つて、堂々として一 る「生みの苦しみ」たることを思へば、徒らに悲憤慷慨するよりも、寧ろ自ら時代の先いふものの、それは奮い酸を破つて、新たなる生活に躍進しようとする過渡期におけ 間會を設立し、極運の隆昌を期して、敢て天下に呼號する所以は、實にこゝに存する

一野間がは、現代日本における世界的大人物たる 電源の發達をなしてをるものであります。 電源の發達をなしてをるものであります。 一個承知の好く、野間先生は、徒長なり、整人へき大多數の食員を得つゝ、 なるであります。 一野間が大生の偉大なる徳風に私淑する全國の同 のであります。 のであります。

山羊の乳

者に何よりの祭養料師舞り

大日本雄舞命講談社及び報知新聞社の社長として、燃ゆるが如き報國の熱情 一帯く、美しい大道に導かうと努力して居られます。

安價分譲

六五五

至所

林 是 图 山

羊牧場

足非御立寄りを…… 是非御立寄りを……

おり、一般である。

3

餘さず歩調を一にし、 果を墨げ得ることを信じ、弦に敢て本館の主義信條を遍く天下に宣揚して、廣く 應接に選なき感況を呈して居ります。併しながら、全國津水浦水に到るまで、一人も 響の物に應するが如く、家然としてこれに共鳴し、 私共はその至誠に感激するの餘り、 この趣旨を以て、野間會は設立せられました。その日来だ後きに拘らず、今や天下 以て彩興日本の躍進のために、大いに貢獻することを期するのであります。 他の中を正しく、明るく、 一致協力することによつて、我等の事業は更に一層解大なる効 全精神を墨げて先生を接助し、世道人心を振作し 入會を希望する者殺到して、 共に供に報國の大業 日。大

八會申込の方法

を目指して邁進致したいと切望に堪へないのであります。

諸賢の御賛助を仰ぎます。庶幾くは奮つて本合に御入倉下され、

落成記念バザー

目新築落成式を製げた羽 |作品だけあつてフ

なかくすばらしいものが摩山あったイツクス、油機等を應用したのが摩山あり

職員生徒の作品

出陳

がれて落成記念としてす記載がカリ全校職員

っておまし

山(日曜)

家事性智宝では独たみやげ

る管で早くも人氣を呼んでぬます「ごらやき」の旅へ方の質賞しあ

○本館の最常に都製品の配布を望む方は、継続代一年分五十機を併せてお送り下さい。二年目からません。左の食質を影響又は高層で野間會本部へ都送金下さればよいのです。
「他」任人會会五十幾個構込になれば永久に會員で計せ、いのです。
「他」を表現している。 例入會には何の配飾もあり

○野間會能設立の企画・大郷堂、園舎宝、供宗線を全国各地に順次開催。 即味と常識同上の質め機を全国各地に順次開催。 即味と常識同上の質め機を全国各地に順次開催。 即味と常識同上の質め機を全国各地に順次開催。 即安供業の映畫會、大郷堂、園舎宝、供宗線の一大郷堂、園舎宝、供宗線の一大郷堂、園舎宝、供宗線の一大郷堂、園舎宝、供宗線の画 ·機關雜誌 報國」每月發行。 □特別會員…は無報五回以上買出。 は難識代五十四だけでよいわけです。 會の 第9、 同語宝、媛素編等を設備し、會員相互の説に、知識交換を取り、 動安族業の映真會、音楽者、演奏會。 保育集町の深町町、武術館 を十二胎側手許へ智識り致します。 意の散展及び美華新伝書の表彰。 第2、 同語宝、媛素編等を設備し、會員相互の説に、知識交換を取り、 第2、 同語宝、媛素編等を設備し、會員相互の説に、知識交換を取り、 では、演奏會。 保育集町の深町町、武術館、 第2、 同語宝、媛素編等を設備し、會員相互の説に、知識交換を取り、 第2、 同語宝、媛素編等を設備し、會員相互の説に、知識交換を取り、 第2、 同語宝、媛素編等を設備し、會員相互の説に、知識交換を取り、 第2、 同語宝、媛素編等を設備し、會員相互の説に、知識交換を取り、 第3、 同語宝、媛素編等を設備し、會員相互の説に、知識交換を取り、 第3、 同語宝、媛素編等を設備し、會員相互の説に、知識交換を取り、 第4、 同語宝、媛素編等を設備し、會員相互の説に、知識交換を取り、 第5、 同語宝、媛素編等を設備し、 上機出の放で 別に機能を施代の没付は要りません。 本語は、野間會の動脈が分るばかりでな

督員の特典、 贈呈品

特別會員には會員職業、感謝狀、野間先生馬翼、機關雛藤一年分解呈。 **返した册子をお送り致します。** 関辞しいことを御知りになりたい方は、本部へへガキで細川越下さればスメ 武術會等開催。場合特別。待遇。我主十一

間

御婚禮性歡送迎御宴會に 是非弊食堂を御利用下さい 徴髪の設備整ひ殊に舞臺装置品取揃 て御座います 如何様にも御相談印上ます

0

冬物類揃ひました 御祝儀用紋付類 = 1 1/ 2/27° 背廣 ろ ロン 五五四 五服 四本店

を寄立側度一たこまめ始を いる下観比例を發生さ物品 町業青市駆逐

商野 吉 香六八一新電

..店商の等吾

顧朝 Ξ

教養口座大道三八五四番

商店

一 井町 正八

陸海軍御用達鮮 魚、蒲 鉾

海產物問屋

ゆかしき看護兵

の苦心、

この美擧

行の河船に入れば風

をする大学の一般のでは、 をする大学のの一般に変さんに、 をする大学の一般の一般に変さん。

案に相違の

炭礦通文學博士

説明役面喰ふの卷

林滿鐵總裁撫順炭礦視察

りで質に莫大なる地蔵社を育し後照下は鈍る處石院、銀の川ば

水に入つて鶏を眠 ふ「不要機」

も無したから今少し続ななした大和田を別ななした大和田を別ななした大和田を別なっての結果について語さ

マ が が か る だら す 必 契 が あ る だら う 、 果 を 得 る だら う 。 果 を 得 る だら う 。 果 を 得 る だら う 。 果 を 得 る だら う 。

奉天あげ

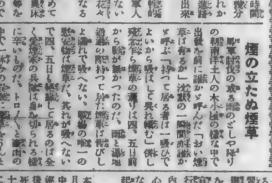
防火宣

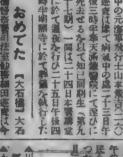
阿東原博物館落師 八木灰三郎 る殿だ」と眺ぎ立て動かねので迄。京大文學部落飾 島田 貞彦 れだ。(透げて居らなくなつたう東大文學部落飾 島田 貞彦 れだ。(透げて居らなくなつたう東て)

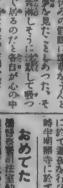
既はず その愛術と共に膨

馬占山討伐隊員手記次











爆竹の製造を 律に嚴禁

奉天省公署の

趣味の旅

盛なりし

と賽馬集

ては廢墟同様の姿

東邊道討匪戰從軍記

第二報

野村特派員賽馬集發

猫を生

H

捕る

許可な得ること

壯途を託した馬は 悲しや他人樣の馬 靉 乘馬突破の夢淋~

を の はかに 大手に 取びまれた。 海で あつれた と で あいまれて あたが で あったと で かったと ・・ 一 で あったと ・・ 一 で あったと ・・ で かい こう で あったと ・・ で あいま かい こう で あいま かい こう で あったと ・・ で あいま かい こう で あいま かい こう で あいま かい こう で あいま かい こう で あいま で あった と ・・ で あいま で まいま こま で まいま こま で まいま で まいま こま こま で まいま で まいま で まいま で まいま こま まいま こま で まいま こま で まいま で まいま こま で まいま で まいま で まいま こま で まいま こま で まいま こま こま こま ま ま まいま こま こま こま こま こま まいま こま こま ま まいま こま こま 1 結果この騙は繁生工講像の馬が廿 結果この騙は繁生工講像の馬が廿 大概さであった

警察機能会 たの知らる警察機能 たの知ら 全の四百三十五個 会の四百三十五個 自選者等外二百三 百九十名

代の後の献金者

「海南張烈製宴【舞口】

會屯道路改修と

書房教育を助見

大和田金州民政署



一つ西融か河口仲別の日土地が小町別会

中山縣通 知果像人 如果像人 如果像人

にく葡萄酒を

初草 五五 十十 夜峽 鏡鏡間 治症を大格を表 **貸**家 水便花

電四六九二番の九二番

が 池田福衛

ミ連市の木町六角堂前 アワーの大連市の木町六角堂前 アワーの大角堂前 アワーの大角堂前 アリース角堂前 派 海

時行所は相切の 住宅 貧室

宋 史 内 珍

家庭和樂草紙

大の和したは

電話三五八四番が此の準備有・

店募集 編章あれ詳細知す 類を表れ詳細知す

派遣き 家政婦派遺 進多忙會員至急募集 進多忙會員至急募集

是 京 高 唐 瀬 武 祖 薬 同

を は 1 ない は 1 な 一十三日電池出港根据

入込んだ怪物

| Transpare | T

順放送

貸衣 裳 日降川 三浦屋

電話二二六四五番

電体前電話ニー〇四七番 高体前電話ニー〇四七番 高橋院

古着 特他词不用 特別高價質

製品は他店より 番点は他店より 一番

電二二五八四電二二五八四

古本の御用は

に共埋職員を渡る無 名の目野縣長氏宅に 名の目野縣長氏宅に 名の目野縣長氏宅に

女中

B十五圓

紙店 電五四三九 大連市山縣通五五条二山縣セル大連市山縣通五五条二山縣とル

北浦の秋をゆく

を享続する機関の数たるものである。 と戦も違からずであらう。

初日一萬六千斤

ボーツを盛に

確

火力發電所建設

明春頃竣成の豫定

満電が敦化に

のも個百性近くはあらうとされてであるもは正が遅れ来る完成のも

不德藏智の前に突き 弊風一掃のため

阿片と賭博嚴禁

開原縣警務局で布告

大刀會を

血眼になつて

昇降客異状の激増で

新京に補助驛計畫

大新京中心主義の現はれ

首 るが続して其の成績政権であると 「新京」伊通縣を根拠として暴励。 で で で が が の 下に 同地方等 他の 低に の 下に の 下に 同地方等 他の 低に の 下に の で と の で の で と の で と の で と の で と の で と の で と の で と の で と の で と の で と の で と の で と の で と の で と の で と の で と

明治節祝知

撫順中學の

慰靈祭 街

天然痘 生見學旅行

下に二十四日長橋、公下に二十四日長橋、公三部やは、原野大三部やは、北原野 一部生は開野校長康井代長原井代

原支店長

な

本月塗擦に順刺取りてか開業 (画)外用諸病傷の卓効薬

藥店

御相談に関す

應じます

電紅六五四四番

約

ニッシ

二十五

は是非一度弊店へ御問合せ下さい 常分の間毎日相場が變ります御買入れの際

(公園知名薬店にあり) 施多格價

文献は三思

店商衛兵長田武 談店 商 義 野 鹽 談 社 會 名 含 色 二 (可修道區東市阪大)

優秀なる効果を收む痛、肩媄、腰痛、打撲痛、肩媄、腰痛、打撲

巴布

劑

與痛消炎

放熱强烈 燃料節約 調節自在 優美耐久 價格低廉 天。長 連. 奉 特

警視電省

南滿洲鐵道株式會社外 務省 內務省

指

定

製品....防彈具、 陸軍用,海軍用

東京大森新井宿一四四二番地防彈具、鐵兜、楯、十手、速

軍用銃彈防禦具研究所

所長

鐵兜、

十手、

逮捕器

警官用



製綿

同

神戶

市林田區

鐘淵紡績株 絲布 加工業

市 围 田町 絹綿

營業概目

被服軍装品 木工具 拳銃一切 飛行機材料器 材 部(職嫌、嫌え、嫌え、がメリン境無電) 自動車部(ビニック・シボレー同トラック)

副代理店一手販賣

店

日本 軍 需 品 商 會 大倉商事讎大連出張所

新科學兵器製造餐賣元 塞天出張所 藤浪町 一長春出張所 高砂町二八 陸軍歩兵大尉 宮

高 南 南 會

械機刷印級高種各

造 業創年八十治明



中 島

機

械

工

東京分工場 電話 本 所73 一九四東京分工場 東京市深川區 職住町一 I 場電話 特設的 北二八八二哥 北二八八二

東京支店|電話本所73 一九四九番本店|電話土佐場44 | 一三〇五番 | 大阪市西區土佐場44 | 一三〇五番

、自働式及手働式電話交換機 、有線電信、無線電信電話機 、鐵道通信用及信號用諸機械 、職作軍用各種通信機

業種目並に製造品目



、電燈、電話線路建築材料販賣、私設電話、電燈、電力、電氣時計、各種落電器及乾電池、電氣時計

東京市芝區田町四丁目二番地東京市芝區田町四丁目二番地東京市芝區田町四丁目二番地東京市芝區田町四丁目二番地東京市芝區田町四丁目二番地 倉商事株式會社 社









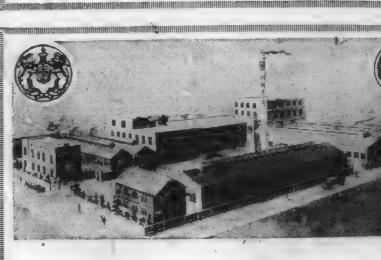




各種印刷用インキ

干製造菜會社 東京京橋二丁目

替哈新大率 口演京速天



大阪支店 本店及工場 稱盛號紙莊

製造元川材喜十朋商店

最新科學の精致を網羅せる 龍田並列獅子牌

印刷用インキ

「プレジャンの船唄」

「プレジャンの船唄」

讀者優待割引券

讀者優待割引券

本紙讀者優待映畵會

帝國館上映「プレジヤンの船唄」

門日延稲劉なし

洋

様に

+ 五庭

後援

日

社

十五日から晝夜一

回

は蛇々河脱な関連を見せて全面

そしてこの結束のヤマ場に

老人は腰に手をまはしたまと、

航海を終って船

仕方がない。

層御引立下さる樣御禮旁御願申上げます

一周年を迎へ一方ならぬ皆様の御援助を賜り御蔭樣にて繁榮を極めて居ります、尙今後共に一合位益々御淸榮に亘らせられ慶賀に存じます、偖而弊店伊勢町(浪速町角)に移轉しまして早や

手段といふものがある、味も方便といふ事がある」 といふ事がある」

何でもない、大都から

よりたしは、後悔なんかしない

ういふ人が後悔してゐるのだ

なんだ

るだらう。後悔するは、一でめた」

この一覧によつてお読者で トはブレジャン』
スパリーンに描き出されて 一葉を快いものにしてゐる『カツ以て教笑ましい解棄りの人 ブランネルの美しいカメラもこの以て教笑ましい解棄りの人 ブランネルの美しいカメラもこのがない 洒脱な藝と咸觸 「プレジャンの船唄」試寫評

試演會

廿六日夜開催

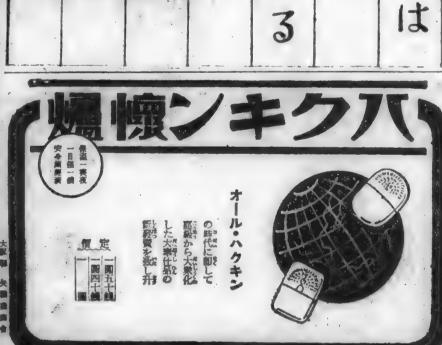
ホルモン り一家の幸福と 関浦と と 計られよ

お布璽

最 新 後の治療として をもして







面白い映画へ映楽館の「清楽趣園のい、明を目れい映画へ映楽館の「清楽趣園の」でこれまた頃ののい、明を目ます。 の歌画」は記録的な を打場げ今日一日間 を打場げ今日一日間

マサ 生き 食味

品 日本一

を作言に考へこんで

世の中のものばみんな、ぶち難しいつてゐるのだ。何でもかんでも

この場が癒

液士團と彼(五)

泄選力

日本自動車

御當選の別都高選の減杯には

記

念大安賣中省出

叫口口 庫在的底 處 大

賣廉大の 慢自店弊

力目

シュ

思切つた特價

廿五日は準備の

行 話 店

は愈

明廿六日、限りです

斷じて高くない

六、牧入の大なるは

の結果

各國鐵道運賃の比較

英品) 運賃も極

繁楽料に比して他の何れの機道よ。 繁楽料に比して他の何れの機道よ。 なつれ、然し端鏡の收入はその が世評に反して安いことが明的 が世評に反して安いことが明的

であるである

カる(3) (編集) (本) ある(3) (編集) (本) ある(3) (編集) (本) は、 (

大阪工業會各要路に陳情

ではこの程其他にした内地不炭斑 合會と崩緩との合同により不炭斑 会會と崩緩との合同により不炭斑 大阪に水都を有する日消粉療破會

高粱採算難で

輸送閑散

はいる。 を はいか、 特殊の が業してもったいが、 特殊の が業してもったいが、 特殊の要 の論今然に具體化する を ため即實業者が自治 してっさしてゐる。 而 で て の な の は 例れ

のでありとし、これが地球を開止しのでありとし、これが地球を開止しのでありとし、これが地球を開止して政ーへく、左記の意見書を開して政ーを大臣、實際職院各政際、消滅を大臣、實際を持ちない。

の中間、戦出来・松瀬階語であるの中間、戦出来・松瀬階語である。は一大統領と関チは東海へたるなめ戦いが、人統領と関チは東海へたるなめ戦い。

委员交

爲替市場閑散

大連在荷五百七十萬枚 今後の荷動き如何が問題

四 よく、警部期に重観したが、本年 院アメリカ味噌に織った緑でものが、サードに入りても後継が強に上間である。大学を選が正式できたで、要してなる。大学を関するとしては特がなく (でもる、環境ではある)、大学のは最大なで、大学のである。、関方としては特がなく (である)、関連では、大学のである。、関方としては特がなく (である)、関連では、大学のである。、関方としては特がなく (である)、関連では、大学のである。、関方としては特がなく (である)、関連では、大学のである。、関方としては特がなく (である)、関連では、大学のである。、関方としては特がなく (である)、関連では、大学のである。、関方としては特がなく (である)、関方に対して、関連を整く経験の時期で、関は (である)、関連では、大学のである。、関方としては特がなく (である)、関連では、大学のである。、関方としては特がなく (である)、関連では、大学のである。、関方としては特がなく (である)、関連では、大学のである。、関方としては特がなく (である)、関連では、大学のである。、関方としては特がなく (である)、関連では、大学ので、地で、大学のである。、関方としては特別で、大学のである。、関方としては特別で、大学のである。、関方としては特別で、大学のである。、関方としては特別で、大学のである。、関係としては特別で、大学のである。、関方としては特別で、大学のである。、関方としては特別で、大学のである。、関方としては特別で、大学のである。、関方としては特別で、大学のである。、関係としては特別で、大学のである。、関係としては特別で、大学のである。、関係とは、大学のである。、関係としては特別で、大学のである。、関係としては特別では、大学のである。、関係としては特別では、大学のである。、対学のでは、大学ので、大学ので、大学のである。、対学のでは、大学ので、大学のである。、対学のでは、大学のである。、対学のである。、関係としては特別では、大学のである。、関係としては特別では、大学のである。、関係としては特別では、大学のである。、関係のである。、関係としては特別では、大学のである。、対学のである。、大学のである。、対学のである。、大学のである。、対学のである。、大学のである。、対学のである。のでは、対学のである。のでは、対学のでは、ならいないのでは、対学のでは、ないのでは、ないのでは、対学のでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、 ものがアメリカの味味に最も重點を置いてゐる。勿論へシアンの最 本年の甲谷陀市場は多分に浮動性

現役監地在帯は五百七十萬様にして海洲における需要如何である、

併立秋期超特別大興行二十五日より最大雄編 東郷久義・猛演

演主大子駒原美妖

口炭統制會社

の傾向を示してゐる

大阪商船

九月建築狀況

MA

は避緩深呼において百八十四棟、九川甲における大連市内建築販売

急騰の鈔票 ける前場大崩れ 目先尚は下値案じ

に かっておいが、 特本の最近に向ってぬることは裏ばしていた。 な姿跡、 機跡、 大花柳等谷 とて各即 黄米者が一致してやったの質易組合に対でもつたいであった。 かあるものさ五の力しかないも として実務の打合せであった。 の前にでするか、この動ながも として実施ではり でいたには語る でいたが多地さしてある。 などの ではどうするか、この動なども でいたには語る があるものさ五の力しかないも として実施では、 かたケ動いさ思ふ、また変令間 ではでいれる。 勿論今急に具體化する からに関与組合を設立されるにしても知々まさま 六十銭 関係して来たが各地さしてはり があるものさ五の力にかない。 大杉村 かたケ動いさ思ふ、また変令間 いるの編出組合に対応してのないが、 特工・ があるものまなどう がに加加される。 勿論今急に具體化する がに立てなることは裏ばし がに加加されていか、 特本の はどうするか こことに、 だも思いないが、 特本の はどうするか こことは裏ばし がに加加さないが、 特本の はどうするか こことは裏ばし がに加加さないが、 特本の は、 の論令急に見難化するかとして、 大・1銭を引きるが、 というには裏ばし がに加加さないが、 特本の は、 の論を対して、 からにも思いないます。 というには、 ないのには、 ないのには、 からには、 ないのには、 ないのにはいいのには、 ないのには、

十二型五十曲、海外観域と含数に 高、細育八分の一高と材料欄のたでは近く運用委員會を贈き資金信 高、細育八分の一高と材料欄のたでは近く運用委員會を贈き資金信 をで近期八十五銭高の百回風六十五 人れ申込に乾いて書談であ では近く運用委員會を贈き資金信 本では近く運用委員會を贈き資金信 本では近く運用委員會を贈き資金信 本では近く運用委員會を贈き資金信 本のは(単位千個) 資金運用協議

高粱

鐵株(保合)

林 朱着

20

二年 5

文開 大李公李 東 道原 原天 三天 **銀** 奥 地 電視 定環 先現 替 市

況

手形交換高(十五二) 金 1.美秋 三國高二天國

き焼

よせ鍋 一式と會席

理な親ふに先づ原産地甲谷陀市場のてゐるやうでわるが、今その一 から述べて見よう

大は大きのからと、「いっとのである」
 大は大きない。
 大きない。
 大きないない。
 大きない。
 大きないない。
 大きないない。
 大きないないない。
 大きないない。
 大きないないないないないないないない

日箱 五〇百箱 一座 二八車 二八車 二八車

大洋九、標金技

样各太八杉

海版替情報 育板ヤニン 四個語品元

中央 五 日 品作回一社入ぶのし木黒

一回二十五錢 基永

二一的狹若市連大

(前院医男店)

苗八〇五三話電

友友订海大鵬

來る

を歴史事務士の高に遺産が、

東京二十四日後】長き

今後現地にて教育

十八八〇 ではそれ以上多数の生者を加へて居たどらう、健行会は一人をはずる現在の不沢 財産では一定限度の不沢 財産の場でも一定限度の不沢 財産の場でも一定限度の不沢 はっちる アンドール ア

若槻總裁の

|東京二十五日發||荒木陸松

陸相招待

時局談

は「政権四集の起選隊船の解表をは「九三六年に就役し、又保事者」は「九三六年に就役し、又保事者」

安」まる二

明年一月から實施

在滿部隊初年兵は

兩事變記念府を建設

沙汰により、宮中に

移民禁止を説く

米大統領の失業者防止方針

英政府態度聲明

サイモン外相下院で

【東京二十五日發】號日報 專使軍艦見學

松岡全權一行

た。心色氏は途里車中に訪れた記 た愛け大山通り速東ホテルに入っ た愛け大山通り速東ホテルに入っ た愛け大山通り速東ホテルに入っ た愛け大山通り速東ホテルに入っ た愛け大山通り速東ホテルに入っ た愛け大山通り速東ホテルに入っ た愛け大山通り速東ホテルに入っ ではない。只外務省から一寸來 ではない。只外務省から一寸來 ではない。只外務省から一寸來 ではない。只外務省から一寸來 ではない。只外務省から一寸來 を愛け大山通り速東ホテルに入っ ではない。只外務省から一寸來 を愛け大山通り速東ホテルに入っ ではない。只外務省から一寸來 を愛け大山通り速東ホテルに入っ ではない。只外務省から一寸來 を愛け大山通り速東ホテルに入っ ではない。日本の ではない。日本の を受け大山通り速東ホテルに入っ ではない。日本の を受け大山通り速東ホテルに入っ ではない。日本で を受け大山通り速東ホテルに入っ ではない。日本で を受け大山通り速東ホテルに入っ ではない。日本で を受け大山通り速東ホテルに入っ ではない。日本で を受け大山通り速東ホテルに入っ ではない。日本で を受け大山通りで、 を受け大山通り速東ホテルに入っ ではない。日本で を受け大山通りで、 を受けた。 を使りた。 を受けた。 を受けた。 を使りた。 を受けた。 を使りた。 を使りををした。 を使りをした。 を使りををした。 を使りた。 を使りをした。 を使りををした。 をした。 をした。 をした。 をした。 をした。 をした。 を

満洲國の獨立を

認める外無し

米國内にも意見生する

使命はない

事務の打合せだ

不可侵條約豫備會議

十二月中東京にて開催か

滿洲國政府

專賣公署官制成案

廿四日の會議で可決

復集獨立か

時期尚早

が早しとみて 軍事行動に出 るも軍事専門

なとも見ら

明年度租稅收入

東京帝大教授法學博士

菊判上製 二圖八十錢

冶科學

全一册 ◆ 蓋科 滿

高橋清吾先出 早大教授·政治學。

でと 関東派は 下に ここ中全會は十

三全會議 成行重大

の遊園町具他内外電野間町につき で得改委就長後任間壁、岡民政府十二月十五日南京に啓東指導會議 一十二月十五日南京に啓東指導會議 一十二月十五日南京に啓東指導會議 一十二月十五日南京に啓三次全標會議を 央としては他の数米した郷珍年事 世界をしては他の数米したが、中 冬季夏食では一般を集の後政府治療部 中 冬季の

本年度同樣六億程度

融資協議 預金部の新規 みられてゐる

日本

東京帝大教授法學博士 牧野英一先生華 合本上要 六圓五十卷 治科斯維士十五 治科斯維士十五

、 神太各組合資金一千五百萬國 ・神太各組合資金一千五百萬國 ・神太各組合資金一千五百萬國 ・神太各組合資金一千五百萬國 近く運用委員會を開き左記新 九一發】大戰省指令部 本月二十七日より三十一の割震に変天に在る全権部及び國東軍司令部は就々新京に移転する事務所の割震は左の如く決定したの割震は左の如く決定した。

今後五國協定に努力

能性發見

「東京二十五日費」本日の際談で、 ・ はる事となったが、大戦者と依省。 ・ はる事となったが、大戦者と依省。 豫算閣議 來月四日より ほこの外神資申し込み北海道及 活資金がある 全權部司令部

英首相外相訪問

新巡洋艦建造

米海軍長官發表

は 別大微智前十日頃までに完了し 同日より職覚職議を職備。 陸軍特 原大微智前十日頃までに完了し 三相豫算協議 松上〇〇〇〇の脱毛まで一部発用するか研究中である。本天電話」 決定した。第二縣新職班は武は を解のため衛造りに追ばれてある が全部消費のて三十日移ることに のでは、第二条のでは、1000円である。 のでは、1000円である。 のでは、1000円である。 武藤軍司令官 各機關巡視

有吉公使動靜

研究會幹部を は、高時の戦烈を講話に翻取られ、高級の戦烈を記述した後の戦烈を対した後九時型の 北大警に赴き秋色深き戦場とはなれば中 北大警に赴き秋色深き戦場を構み

性験が代の状況今後における各種を検えり正式率続後の満洲の数保 を検えり正式率続後の満洲の数保 ではない正式率にある。 紀光地に陥った同

情部(特技集官所)窓長司合郡 (背及第二分局)電信隊(記念 (背及第二分局)電信隊(記念) 飛行隊司令郡(ツウリス トピュロー)臨時鏡道先順司令 記を专画及兵站司令郡(明の一部に分 記をを画及兵站司令郡(明の一部) 「新京電話」 三十日全部移轉

東北帝大教授法學博士

版である。今次では近日本

大修正

東の問題和な解了の研究書でからには基本的な多名でである。 を現行法の織細な解釋に及び一切の學説が強強で論論をはる新鮮な理である投資抵離權の経濟が深く探討を開きる新鮮な理不動産金融・土地の資本化 原である投資抵離權の建源を深く探討を開発し途離かな著者は抵 原である投資抵離權の建源を深く探討の學説が診療に途離か強者を抵 原である投資抵離權の建源を深く探討の學説が診療に途離か強を 原である投資抵離權の建源を深く探討の別であり、一世の資本化 全一册●資 端上時

京大助教授 氏管権の研究

統制於明代表的名者 京三七〇個

武装移民を送り 佳木斯から歸り

一行の駐屯ィ

版白約五版語目標

版行義な

加藤國民學校長紫

相當減收を発かれず

下册發賣

各論完結

歐州新憲法論

有利上製 二国五十銭

本方に員 大戦後の新憲法及公の諸問題に就て正確なる知識を求 会政治・國家の領土・線邦制度の土海に再り緩緩に論究されたし。 は、國家の領土・線邦制度の土海に再り緩緩に論究されたし。 は、國家の領土・線邦制度の上海に海川なる知識を求 が、大きに再り緩緩に論究されたし。

東鐵豫算編成難

・軍政部分を解説し之にて各論の増訂版も完結を本を登れてきた各論をの談改明とよいるの本册には選議派に続けて法政・財下巻子論をの談改明とようの本册には選議派に続けて法政・財下を下册を發賣せるもの本册には選議派に続ける法政・財子を一下の登録によると、総論の結ば全部と改植。「解説を書は関する行政法できる。総論の結ば全部を改植。「解説を書は関する行政法できる。総論の結ば全部を改植。「解説を書いると、というない。」

美濃部博士著 金四圖六十

林田學氏

スポーツ関係し

満洲はいらぬ」といふ

「藍衣社」の正體解

上海特派員

自

3章氏 また菅原候補 対口工場を陣營さし工作 と対けているので相當の成

は、 古泉光男候補に高電社を眺一の 配内に入るが縣人會、接及會、その地盤とし根離形氏が選繫事務長と の他の縁故を迎って突撃を試みる ので同族権は更に職職へ である同會社には三百三十票あり の他の縁故を迎って突撃を試みる してある同會社には三百三十票あり ので同族権は更に職職となった してある同會社には三百三十票あり の他の縁故を迎って突撃を試みる ので同族権は更に職職となった

日

面の智識階級層に突入してゐる 千種峰 東氏 地方部消費

▲山口十助氏 線道部を居

社

内以行十五

ーペン酸はイー

い説画であり、西

やうになった間は概字で我員 h いっなごに間違って養育される

の二種けにず

候補の陣容成り 市議戰機熟生

教師繁な暖のを得って満盤側を候補十名は地 自由意思な政時代の今 数なが供し

中内各方面の戦況

日では決して樂観を許

日の女姓し で引き受けてあるがばかりことは 野なるを繋すで時々髪譲水部を臭い で引き受けてあるがばかりことは で引き受けてあるがばかりことは で引き受けてあるがばかりことは

大院、大汽、集頭事務所際、大汽、集頭事務所際、大汽、集頭事務所要配を機製に言外機製を計されず、 業親を計されず、 業親を設置に分娩を設定に外域を 、大汽、集頭事務所

力』の總動員で

務

所めぐり

攻勢的防禦

候補者の紙上演説

州木商組合

楓利廻り五分九厘見當らし

ショ薫は樹外不抵抗主義な、日本、ドイツ等の各関フトはファッショ薫を破望す

に私吹されてゐる就

の態表とは如何なる正體のもの

| で記案中であった木| 點な得て法政党々二割一で勝つ別な野歌を報告盛にその歌 | 極置き二死の後、久保二塁打に一条 | 電影 | 最近のであった木| いる | 第一次の後、久保二塁打に一条 | 第一次のでは二十三日午後 | 明治報頭歌尾守備互場に取び延長 | 第一次のでは二十三日午後 | 明治教法政野母決戦司に上る | 第一次のでは二十三日午後 | 明治教法政野母決戦司に上る | 第一次のでは二十三日午後 | 明治教法政野母決戦司に上る | 第一次のでは二十三日午後 | 明治教法政野母決戦司に上る | 第一次のでは二十三日午後 | 明治教法政野母決戦司による | 第一次のでは、1000円 | 1000円 後二時二分神宮球場に明治失攻で明治對法政野が決勝戦は廿四日午明治對法政野が、東京廿四日發】

其意はいるとなっています。

電の發行は近くシンジケートの合 版の發行は近くシンジケートの合 大親

二千萬圓發行か

先豆粕现物 戸 特 · 市 · 場 · 電

軟性下疳

一〇四、九〇 九五、四〇 七六00 東記 八字 (前院 医 男 岩) 院醫科 協 森 藤

一的图式電:五二的野音速太 借力の五三話電 有隣生命 爲めに 々の

東·社·本

關東廳、滿鐵の 學務を統制 関係は文教型 部と交渉

特產出廻調查

滿鐵主任更迭

太田公使來滿

新好きである、牧町では田中のゴール目さして選挙 機構に軟機されが繋町では田中のボール目さして選挙 には田中(正)駅を開ては田中のボール目さして選挙

(正) 東崎

政見發表會

局長は副東歐と浦鐵・砂打合せのため來添 一三理事を伴び二十 林滿鐵總裁

十四日楽岡子に下

物の矢を立て二十三日脳社線を以 ・ 放を突然してるたが、銀道部では ・ 銀道部では ・ の矢を立て二十三日脳社線を以

小野僧正着奉

九日夜歸連

おけるより、おけるより、はないで、東門的な調査をなす必要にあいて、東門的な調査をなす必要にあれて機道部に許して、東門的な調査をなす必要とはいば付等

南廻り 今年起工

を始め日滿宜民の挟

以物主任を命ず 滿鐵社債

長者驛貨物主任**心命**了 整门驛貨物助役 製品 外にという 小ルピン事務所運輸課動務を命す 整日職貨物主任 整日職貨物主任

製出はけだし影響でとされてゐる 製出はけだし影響でとされてゐる 長春霽貨物主任

世代後七時五十分着列車に一十四日午後七時五十分着列車に一十四日午後十時数北行二十四日午後十時数北行 年後七時五十分者はさ號草氏(電道補州總支社長) (朝鮮美術品製作所支 現

撃した、同夜新京に赴き一次の上地が焼め慌徒多戦の出逃へを受けた 1 ○四、三〇

であた人であるだけに今回の氏の であた人であるだけに今回の氏の であれるだけに今回の氏の であるだけに今回の氏の

大連へ向ふはず【奉天電話】

方のを観察した上北行のはす『奉本本ヤマトホテルに入つたが二、 ●現物後編《銀建》 一次三、標準数五〇七〇五〇七〇 大豆、裸数五〇七〇五〇七〇 出來高 三十車 出來高 三十車 出來高 三十車 出來高 三十車 出來高 三十車 出來高 一萬四千枚 出來高一萬四千枚

二二二後 六四一引 〇四四

勝馬投票券附

吉氏は廿五日午後一時鞭安奉総で再除職郷中のスペイン公使太田総

1年大殿つ 『東京二十五日 大塚成にて熊始五郡三で帝大修勝 大塚成にて熊始五郡三で帝大修勝

平な審議を行ひ

松四分、紅橋一割、蒸業機八分で、紅橋一割、蒸業機八分で、紅橋一割、蒸業機八分で

概を全世界に示めさればなられびとつを稱へるやうに心かけ模。

TPPONが得び出てます。して嘘しく思つた。 は嘘しく思つた。 は嘘しく思つた。

ONが飛び出てぬたのに といった。

ではれてあるが何と っす。これ程まちま った。これ程まちま

なめてNIPPONit する傾向 を入しに示す場合にJAPANを 米人に示す場合にJAPANを が表されてぬに舞めであるが、

吹めてNIPPON上する傾向

◆勿論補支人に對しても日本は フポンと置ましめなければなら

ムピックに出場し

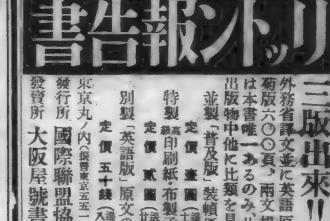
銀價の低落で 高粱强調

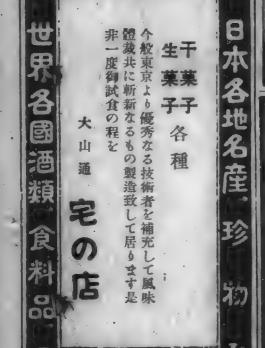
我間は全世界の注戦の的となり ニッポンが戦米に戦く知らなり モールなって来た。この機會に我々ば戦米人に向って正しい我 はならない。

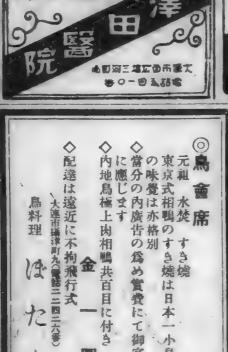
市

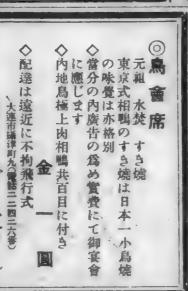
况代数

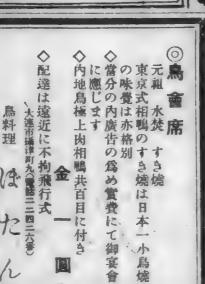
特製 為印刷紙·布

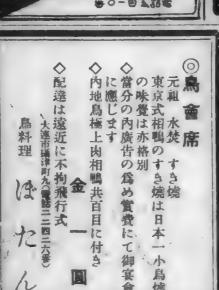


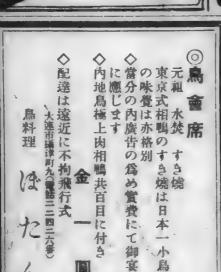


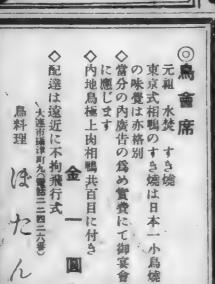


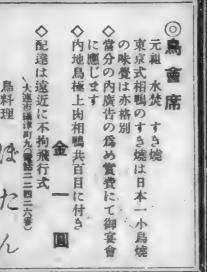


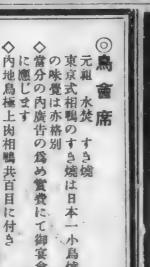


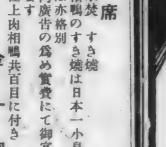














馬投票券

加券金五拾錢 五 拾 錢

遼陽飛行場東側

東京丸ノ内C振替東京五五 I 入三) 定仮五十銭(経断) 定價五十錢(経 國際聯盟協會

が務省譯文並に英語原文外務省譯文並に英語原文外務省譯文並に英語原文別版物中他に比類を見ず。



朗かに

なを謂ふ



人一罐の使用量は約一ヶ月暖

駄な散亂を防ぐためです

それ以上の消費は濫費です

不景氣を征服す

あるべきは

!今らなふ買を袋足

お買上の方へ 番抽 號籤 齒磨進早

來る十一月 本新聞紙上

品

三等 絹座蒲團 一等蓄音器 英術置時計 ベリーセット 三個人 (松枝液の品。) 一台 個

> もれなく進 三一四〇本 100本 100本 三〇本 一〇本 一五本

評判のよい お買求めは

東州

らなむの草煙

を與へてあります

の歯を純な白さに輝かします 歯の無いヤニがぢき取れます を常に正しい状態に置きます 口中の荒れ! スモカは過度の喫煙から來る スモカの粉末には適度の潤ひ 故にスモカを使へば それを防 いで口腔

493

池田小兒科門醫院

水原小兒科醫院(共警領主管理等署院施)

穿山兒科 今井醫





日

足を確信致します

オリヱンタル貿易商會

薫は 郁 た

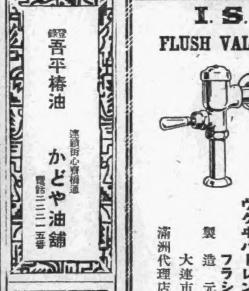
キットで

エジブ 愛煙家の

1 御葉 荷

旅者、雅道省 御

指定



大連市大山通十

I.S. FLUSH VALVES

事實特許、新案特許 、水擊防止裝置、完全自動裝置 や タル 式フラシュバルブ 和風ペ タル 式フラシュバルブ の元祖 フラシュバルブ チェ 一、防害物阻 止裝置一、完全自動閉止裝置

手 洗 器 用フラシュバルブヘンドル型フラシュバルブ和風自動式フラシュバルブ

公信與洲満 のきさぬばる、 租始の業信果 計規、乗日、産調 **番**六六七四 · 时河较 示 連大

底に備他の時に焼の時に焼

を変がらに一門の保健として を変からに 一門の 健胃効果は、既に 定許 な気からに 一門 なく 頭かな 気分 かな 気が からに 一門 ない かな 気が かな 気が しい いい ここ いい こう いい いい こう いい いい こう いい いい こう いい こう

D00000

無ない。 大連市伊勢町十十二 大連市伊勢町十二 大連市伊勢町十二

西南

運動に

何上

新菜

超 (c-1)

本舗

筒 屋

油

店

土博港片 獎 推

整容は

東京

大豆牙口町台が典五册一時胜交者に最新刊の人例を記して分り易く説明教授せる大好語の演説辞典

第十亚 (人拉丁一)分用也

一冊進呈

入粒百四(質十三)附器容光滿

| 青年演說辞典| 日常便利辞典

現代新語辞典 最新手紙辞典) いろは引辞典

五册版口 空前の大特賣!! 大好評の 文者に限り只の金一回に大投賣する外に教料士五段を 模範辭典が (總紙數一千五百頁) 員

乳腺斑る脱の

金三十錢

きます 爲め 常に飲かされぬ、妙布」の此偉効 速かに排泄して して新陳代謝を良くし、疲勞に依つて生ずる毒素を スポーツマンの必携薬「妙布」は、血液の循環を促進 今日の疲弊を癒して 明日の糯力を涵養の 運動疲れに備へよ「妙布」! コリを和げ痛みを消し 疲れを除 **震腰のコリ** 節夢う 肉の の の の な * 5 主治 金五十錢



に劈脱を続い大刀會匪、紅棺會匪のんな繋か!一時は東遠道內十二條

機可会をなる不選

東邊道で半年間明智を真似た

馬卒上りお山の大将

たものだった。

右は聴地直前の脱沢で貼々深の我では、一般であるが目下側音中『奉天』

皇軍將兵意氣軒昂

十八里の (代理を総要) 本家二十萬元を振鬱した模様であった現大 座の (大型を報びて) (大型を報びて、この日新蔵に駅 の数代した歌歌氏衆は離重数代と は歌歌に入城した、この日新蔵に駅 の数代した歌歌氏衆は離重数代と は歌歌に入城した。この田が歌歌と歌歌 る 新濱 には 際数五一派 元は かる ある おが李遊亡の際官観数分数にあった現大 座の かる

の寫真は無名河か波る時

大連の容

を彩る

新賓以遠の鮮農は

現地にあつて耕作

不逞鮮人は唐と逃走

日實業球場で打揚げ

建國祝賀催し

仕掛煙花は「ナーある 「四季の富士」「朝頼棚」等で 光交錯するもの イヤガラ瀑布」「垣根の索花園」

無電を利用し根場機能をなしほ利 無電事件の 取調べ進む

同局關係殉職者

須傷拉致の日滿人

等を主ななめた出征粉士及び在 第1人を設置するため我が國粹議 派邦人を設置するため我が國粹議 派邦人を設置するため我が國粹議 派邦人を設置するため我が國粹議

王滿武道大會

開洲航空會社の

吉長沿線の匪賊歸順 なな温暖してあるのでして 様りには手を増いてあるのでし **啖嚴な論告** 免除執行停止を求刑

不良匪賊を

歸順の血祭りに

新飛行機を空輸 一十四日東京出發

能士の融技に驚嘆の眼を放ち

日時 來る十月二十六日(水)午後六時よ

舞踏券

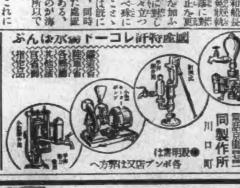
一回二十五錢

スポットタ

東亞會館舞踏場









毛類の

仕上り美しく洗へます 化上り美しく洗へます になり傷んだりせずに がおすれば、毛類が縮 があずれば、毛類が縮

B人)計線八名 と数方面三名、東支 で萬全の東を際じつと 計線四名、奉山一名 れん・連絡を取りつと

日本鍼灸術秘傳交換會々員日本鍼灸術秘傳交換院元講師日本鍼灸術秘傳交換院元講師 後田鍼灸療

多の婚禮衣裳穴特價提供 全店吳服せいもん大マーケツト! 新柄コー 滅法安い

叛將唐聚五とは? 度の兵變も唐と邦との二人芝居とでたとは十四、五年來の親友で今 も早く焼飲を購へさんと決心を早

のためか驚り動わてスパイの策動が戻って難り動つてスパイの策動 たのは暦又心配した彼は一のためか歴の手記に入って了っ

旅順振武館にて舉行 の他名關係者多數出席先づ柔道

TENNE STATE

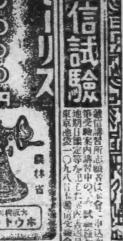






















全十九二十

東京本鄉·久保政吉商店

一節から精桜が云つた。 百合は高い揺れの上で省を振 一四五六七八九十二

號 四

+ 二百五 千 ブレ (日曜水) 花園を突歩つて、百合の行つたが、まテル前の懐報した曲路を変かって、百合の行つたが、まテル前の懐報した曲路を選ってな評論の脱衣場の残骸と、とこの様を境に、とろりさ溜つたやうな海面のた。とろりさ溜つたやうな海面ののである。 花壇を窓切って、百合の行ったとの會話を進めやうと思ってゐた 百合は、砂の上に立てられた白 大きな際で云った。 波の音に消されながら、 んなに強く振るの

たっさうして、お父さん根壁らず神 を 「さうして、お父さん根壁らず神 に、まるで世界が遠ふんでする」 「悪くなけれやごうかしてまずわ」 「悪くなけれやごうかしてまずわ」 「一点くなけれやごうかしてまずわ

印は?

藤はる)原

日

沙州

清前

同大幸助六、メニー線向ゟ勇、上眼「越後獅子」眼件屋正春、長眼「越後獅子」眼件屋正春、三町「萩の霧」三波解水大勾賞

军权

印は?

お化粧下、自称落しにも月頭を強い心地よいクリーム脂肪中性の

家庭的である。 大学をは、とは、他にも同くない。 大学を対して、他にも同くない。 大学を対して、他にも同くなったにも同くなった。 大学がありにも はなったにも同く なったにも同く 印は? 、色白くなる

電四四

番

日報社廣告部

り難じ。先づ選り難じ。先づ選

壇 3

佛

奈良 微

大連市若狹町郵便局角 笑堂 接続人建二〇一一番 藥 房

度 高 を寛 各種御進物品卸

煙

內店 貨 百 連 大 日丁三町速河 毎四五大四話電



梶 田 小兒科醫院

歯痛にセロシン(聖路心)

い好評です!

日本権薬局

では、百十ダラム注二銭です ・健先は東京市芝岡田町森北製菓墨藤部 ・健先はすべて本社に頂きます ・にはれ場いですから、なるべく厚紙に ・こはれ場いですから、なるべく厚紙に ・こはれ場いですから、なるべく厚紙に ・こはれ場いですから、なるべく厚紙に 作品が積々集まつてゐます!! /orangetanga

軍人後援会に管附しますにつき二厘の割合で計算したの金額を支那事 悪傷 摂 森永製真株 式 會

配々とした黒髪に染る (関赤末粉) 監新 銭五十二 伍一

去らか

一然の儘の

赤毛

大

應募規定

《イ¤〈順) 《イ¤〈順) 《有數與太郎先生》 有數與太郎先生 學 佐護平太郎先生

來ます

(八)三

(8)

はい小砂利を踏んで、 灌木と芝 ・ と空と 高杉晋一

様やホテルから、幾つもの組になれていたのから、幾つものが人達が、園内の別 は、二人の近づくのを待つてぬ で選い二人を幾度が待つた場合した。 選い二人を幾度が待つた場合 た三つ浴べてぬる。その水の果に た三つ浴べてぬる。その水の果に で、もう午近い事が察せられるの だつた。 にんなまくりあげて、きやつきや にんなまくりあげて、きやつきや で、暢は何さなく洋杖の気が、す Currentと書いてるた。 「百合さん、プランコは止して親」 と、端後は身を燃ってアランコと、端後は身を燃ってアランコと、端後は身を燃ってアランコ

暗板は、戦つてその単杖の先を 連つてるで観れた。 ぐさを消して了った。 中ば無意識にやって 『常小屋の傷痕(山中の傷痕・山中の傷痕・動地変)破れ象の

年

七

和昭

+

が、一般があって、一般があって、一般があって、一般があって、一般があって、一般があって、一般があって、一般があって、一般があって、一般があった。

=

私、協分人し振りなのよ、是ケ

さうですか、僕も一月ぶりぐら

代思潮)の意味だったんです」

+

B 六

「食社の

月

ので、二人が暖から波をかぶつたのだ。 遊んであた先刻のロシアの子供達 で、二人が暖から波をかぶつたのだ

放送り 連 JQAK

十月二十六日 十月二十六日 十月二十六日 一十月二十六日 一十月二十六日

花

ウテナクリーム

吃可 (脂肪性)

!を美。よて育。一を肌。地。!れ護:

整・小・色をなる。
売いたができます。
を表す。
のののでは、
ののでは、
ののでは きいいない。 をおやすみ前をある。 をおやすみ前をでいまれば をおやすみ前である。 をあるからなれば をある。 をいまれば をある。 をいまれば お肌の清解に

徵特

○嗣體一本鋳造で共上重量は他品に比し武割増大して○東斯漏洩を防ぐ爲め悪兎斯燃燒裝置が付いて居ます○放熱力は極めて大きく放熱面積は約貳倍あります○完全燃燒に依り燃料は約貳割節約出來ます 〇外親、體裁、耐久力満點です

nn

店 態安營哈長 順東口讀春 反 田陞茂菱 利 公洋公

五日英三泰山三協太大三 田菱和 連宏 豐 商公公查洋洋 商 所司行司號會司司店行行 すばらし

廢物利用で藝術品の創作が出

森金金金金金

李斯令 元十名名 本 五千名名